Panasonic

取扱説明書

ポータブル地上デジタルテレビ

品番 SV-ME5000

製品に関する情報は、パナソニックホームページをご覧ください。
http://panasonic.jp/portableav/me5000/

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

保証書別添付

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に**「安全上のご注意」(44 ～ 49 ページ) を必ずお読みください。**
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

例えば お風呂で

ジェスチャーコントロール

画面に向かって手を動かすことで、本機に触れずに操作することができます。

●●● 19 ページ

テレビ

本機の 4 アンテナ ダイバーシティシステムで高画質な地上デジタル放送を楽しむことができます。

■ 電波状況が悪い場所では、自動的に携帯端末用のワンセグ放送に切り換わります。
■ 地上アナログ・BS デジタル・110 度 CS デジタル放送は受信することができません。
■ 放送エリア内でも、地形や構造物といった周囲の環境、本機を使用する場所や向き、電波状況によっては受信できないことがあります。
■ 地上デジタル放送やワンセグの放送エリアなどの最新情報について詳しくは下記ホームページをご覧ください。
社団法人　デジタル放送推進協会　http://www.dpa.or.jp

●●● 20 ページ

インターネット（テレビでネット）

インターネットを利用したさまざまなサービスを楽しむことができます。

●●● 25 ページ

くらし機器

訪問客や太陽光発電システムの情報を確認することができます。

●●● 27 ページ

フォトフレーム

SD カードに記録した写真や動画 (AVCHD) をスライドショー再生するデジタルフォトフレームとして楽しむことができます。

●●● 24 ページ

お部屋ジャンプリンク

当社製ディーガなど DLNA 対応機器に保存された映像や写真などを、本機から操作して再生したり、対応機器で受信した番組を本機で視聴することができます。

●●● 26 ページ

目次

「安全上のご注意」を必ずお読みください。（➜ 44～49ページ）

はじめに

設置

視聴

再生

設定

必要なとき

■ 本書内の表現について
- 本書内で参照していただくページを（➜ ○○）で示しています。

付属品を確認する

リモコン（1 個）
N2QAYC000062
- リモコンは本機専用です。

コイン電池（1 個）
リモコン用リチウムコイン電池
- 別売品 (➜ 9)

AC アダプター（1 個）
RFEA227J

miniB-CAS カード（1 枚）

吸盤ホルダー（1 個）
RFA3345

吸盤ホルダー用取付シート（1 枚）
RFE0243

- 包装材料などは商品を取り出したあと、適切に処理をしてください。
- 小物部品については乳幼児の手の届かないところに適切に保管してください。
- 付属品・別売品の品番は、2012 年 1 月現在のものです。変更されることがあります。

防水について

本機およびリモコンは、JIS C 0920（IEC 60529）「電気機械器具の外郭による保護等級（IP コード）」の IPX6/IPX7 相当の防水仕様となっています。ご使用前に、以下の内容をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

- **付属の AC アダプターおよび別売品は、防水仕様ではありません。**

■ IPX6/IPX7 について

- **IPX6（噴流に対する保護等級）について**
  常温の水道水にて、機器から約 3 m 離れて、内径 12.5 mm のノズルであらゆる方向から約 100 L/ 分の水を 3 分以上注水したあと、機器の機能が動作することに対応しています。
- **IPX7（浸水に対する保護等級）について**
  常温の水道水にて、水深 1 m に機器を静かに沈め、30 分間放置して取り出したあと、機器の機能が動作することに対応しています。

■ 本機およびリモコンの防水対象液体

対応	真水、水道水、温水
非対応※	石けん水、シャンプー、入浴剤、洗剤、温泉水、プールの水、海水

※非対応の水中につけないでください。

■ 水場（浴室や台所など）での使用時のお願い

以下をお守りください。誤った使用は故障の原因になります。

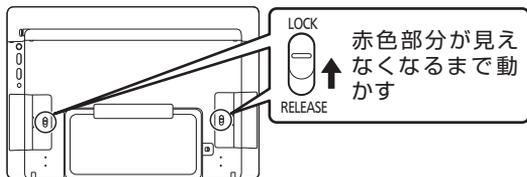
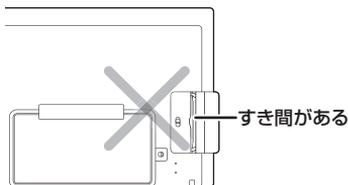
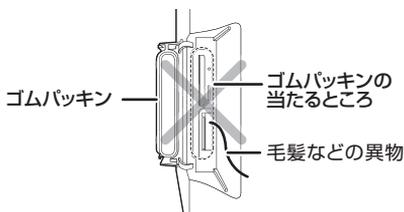
- **本機のカードふた、端子ふた、リモコンの電池ふたをしっかり確実に閉じる**
- **AC アダプターを接続して使用しない**
- **アンテナケーブルなどのケーブル類やUSB 機器、ヘッドホンを接続して使用しない**
- **SD カードや miniB-CAS カード、リモコンの電池を入れたり交換したりしない**
- **IH クッキングヒーターの上に置かない**
- **故意に水の中や湯ぶねの中などに入れたり、水中で操作しない**
  誤って湯ぶねに落とした場合は、すぐに拾って柔らかい布でふいてください。
- **浴室など湿気の多い場所に放置しない**
- **サウナで使用しない**
- **寒い屋外から急に浴室に入れて使用しない**
  本機が冷えた状態で、浴室など湿度の高い場所に移動させて使用したときは、「つゆつき」(➜ 6) が起きて本機内部に水滴が付くことがあります。

■ 防水性を保つために

本機を落としたり、ぶつけたり、強い圧力をかけない
本機が変形や破損し、防水性が保てなくなります。

■ 本機のカードふた、端子ふた、リモコンの電池ふたの取り扱い

ふたが開いたまま使用すると内部に水が入り故障の原因になります。ご使用前には、以下の操作でふたをロックしてください。

- カードふた、端子ふた：[LOCK/RELEASE] を LOCK 側にする
- 電池ふた：[CLOSE] の方向へ回す (➜ 9)

ふたを閉じるときは、以下のことにご注意ください。
－ふたが完全に閉じられておらず、すき間がある

－ゴムパッキン、ゴムパッキンの当たるところに毛髪、糸くず、砂、ほこりなどの異物が付着したまま閉じている

- ゴムパッキンにひび割れや変形がある場合は、そのまま使用しないでください。
- 手がぬれた状態や本機およびリモコンに水滴が付いたままでふたを開け閉めしないでください。

防水性を維持するため、2 年に 1 度は本体のゴムパッキンやリモコンの電池ふたなどの防水に関する部品の交換（有料）をお勧めします。お買い上げの販売店またはお近くの「修理ご相談窓口」(➜ 50、51) へお問い合わせください。

■ 水場での使用後

本機およびリモコンを乾いた柔らかい布でふき、室内に置いてください。

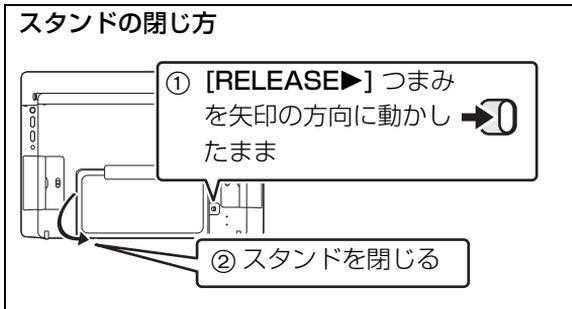
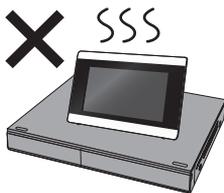
- 石けん水やシャンプーなどがかかった場合は、常温の水道水を弱めの水量にして洗い流したあと、ふいてください。（洗剤で洗わないでください）
- ドライヤーなどの熱風で乾かさないでください。
- 寒冷地で、水滴が付いたまま放置しておくと凍結し、ふたが開かなくなるなどの原因になります。

万一、本機およびリモコン内部に水が入った場合は使用を中止し、お買い上げの販売店にご相談ください。お客様の誤った取り扱いによる故障の場合は保証対象外となります。

本機の設置

水平で安定した平面に、スタンドを開いた状態で、立てて置いてください。

スタンドは、スタンドストッパーが「カチッ」と音がするまで開いてください。

スタンドの閉じ方

- 液晶画面を下にして置かないでください。
  液晶画面の表面に傷がつく原因になります。
- レコーダーなどの熱源となるものの上に置かないでください。

- 温度変化が起きやすい場所に設置しないでください。
- 「つゆつき」が起こりにくい場所に設置してください。
- 不安定な場所に設置しないでください。
- 重いものを上に載せないでください。
- 車の中に設置しないでください。
- 本機を移動させるときは、電源を切ってください。

つゆつきについて

冷えたビンなどを冷蔵庫から出してしばらく置いておくと、ビンの表面に水滴が発生します。このような現象を「つゆつき」といいます。

- 「つゆつき」が発生しやすい状況
  - 急激な温度変化が起きたとき（暖かい場所から寒い場所への移動やその逆、急激な冷暖房、冷房の風が直接当たるなど）
  - 湯気が立ち込めるなど、部屋の湿度が高いとき
  - 梅雨の時期
- 「つゆつき」が起こったときは故障の原因になりますので、設置場所の温度になじむまで（約 2 ～ 3 時間）、**電源を切ったまま放置してください。**

浴室で使用するとき

付属の吸盤ホルダーで、本機を固定してお使いください。

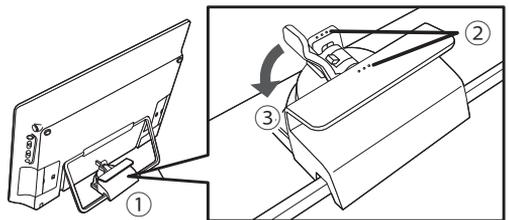
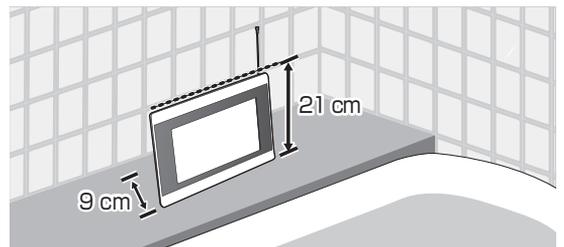
吸盤ホルダーは設置場所に応じて、以下の使い方ができます。

－浴槽面などに固定して設置

－壁面に固定して設置

- 本機や吸盤、取り付け場所がぬれているときはふいてから設置してください。石けん水やシャンプー、洗剤、ほこりなどが付いているときは、水で洗い流し、ふき取ってください。
- 以下の面に吸盤は吸着しませんので、ご使用にならないでください。
  – ざらついた面
  – 湾曲した面
  – 凹凸のある面
- 長時間吸盤ホルダーを壁に付けたまま放置しないでください。吸着が悪くなり、吸盤がはがれやすくなります。吸着性を保つため、1 日に 1 回程度吸盤ホルダーの付け直しをしてください。
- 吸盤ホルダーは外れる可能性があります。頭より高いところなど、高所への設置はしないでください。

■ 浴槽面などに固定して設置

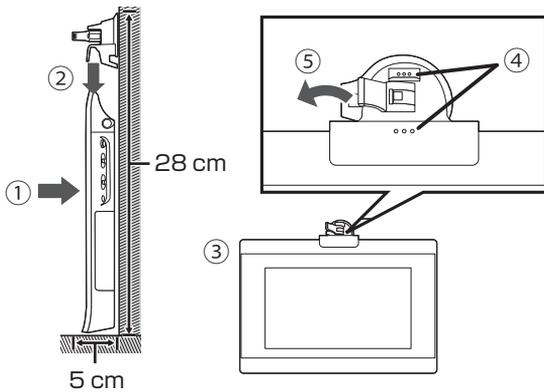
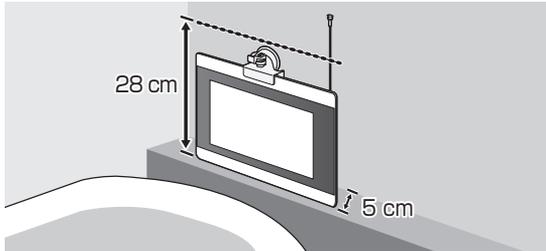
奥行き 9 cm 以上、高さ 21 cm 以上ある壁側に設置してください。（アンテナは含みません）

① 吸盤ホルダーをスタンドの内側に設置する
- スタンドの外側に設置すると本体が安定しません。

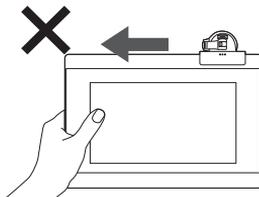
② 吸盤が密着するよう突起部分を押し付ける

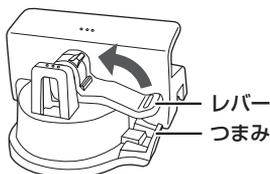
③ レバーを下げる

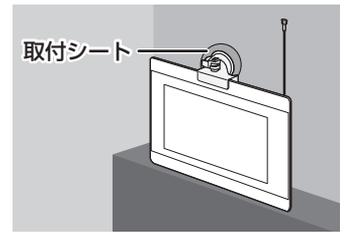
■ 壁面に固定して設置

設置には奥行き 5 cm 以上、高さ 28 cm 以上必要です。（アンテナは含みません）
また床に対し、垂直な壁に設置してください。

- 吸盤が壁に十分吸着するか確認してから、本機を設置してください。短時間で吸盤が外れるなど吸盤が壁に吸着しにくい場合は、付属の吸盤ホルダー用取付シートをお試しください。

① 本機を壁に当てる
② 吸盤ホルダーを上からしっかり差し込む
③ 吸盤ホルダーが本機画面中央の位置になるよう調節する
④ 吸盤が密着するよう突起部分を押し付ける
⑤ レバーを下げる

- 壁に設置中、本体を左右に動かさないでください。本体が吸盤ホルダーから外れ、落下するなどのおそれがあります。

■ 吸盤ホルダーを取り外す

レバーを上げ、吸盤のつまみを持って外す

■ 吸盤ホルダー用取付シートの使い方

取付シートを貼る位置を確認し、裏面のシートをはがし壁に貼る。

- 取付シートを貼ったときは、シート全体をしばらく押さえ付けてください。
- 取付シートの糊面に触れないでください。
- シートの取り付け場所がぬれているときはふいてから設置してください。

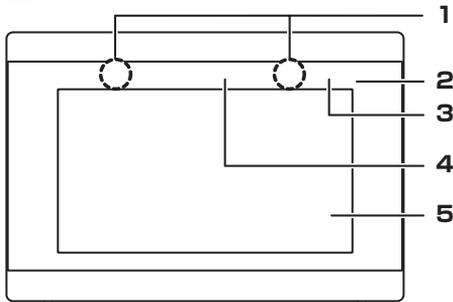
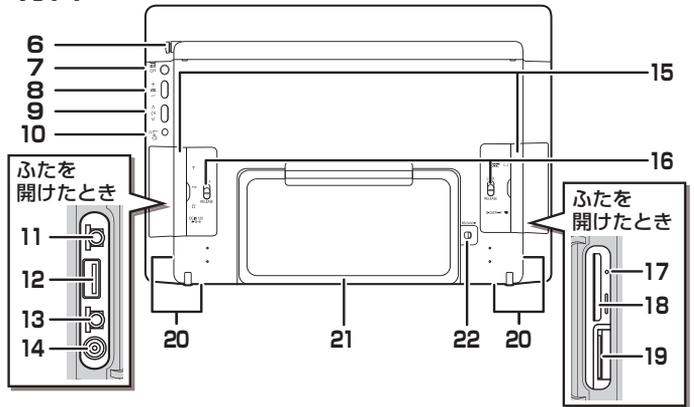
- 吸盤ホルダーは、自動車内のダッシュボードや窓ガラスへの設置など本機用途以外での使い方をしないでください。
- 吸盤は取り付ける場所により吸着しない場合があります。
- 取付シートを使用しても、湾曲した面、凹凸のある面などには吸盤を取り付けることはできません。
- 粘着力が弱くなるため、一度貼った取付シートは貼り直さないでください。
- 温度が低いときに取付シートを貼り付けると、貼り付きにくいことがあります。

各部の働き

本書では、リモコンでの操作を中心に説明しています。

本体

本体ボタンを押したときに出る操作音の設定は変更することができます。(➜ 33「操作音」)

正面

背面

1 ジェスチャーコントロール用センサー位置 (➜ 19)

2 充電ランプ
充電式電池充電時に点灯します。(➜ 12)

3 リモコン受信部
受信範囲
正面：約 4 m 以内
左右：各約 30°
上下：各約 20°

4 明るさセンサー (➜ 18)

5 液晶画面 (LCD)

6 アンテナ (➜ 11)

7 本機の電源を切 / 入する (➜ 14)

8 音量を調整する

9 テレビ放送のチャンネルを切り換える (➜ 20)
- テレビ放送表示以外のときに押すと、テレビ放送に切り換わります。

10 ジェスチャーコントロールを有効 / 無効にする (➜ 19)

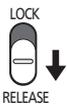
11 外部アンテナを接続する (➜ 11)

12 USB 機器を接続する (➜ 16)

13 ヘッドホン端子 [🎧]
(φ 3.5 mm ステレオミニジャック)

14 AC アダプターを接続する (➜ 12)

15 カードふた / 端子ふた

16 ロックつまみ [LOCK/RELEASE]

カードふた / 端子ふたの開け方
① [LOCK/RELEASE] つまみを [RELEASE] 側へ動かす
② カードふた、端子ふたを引き出し、開ける

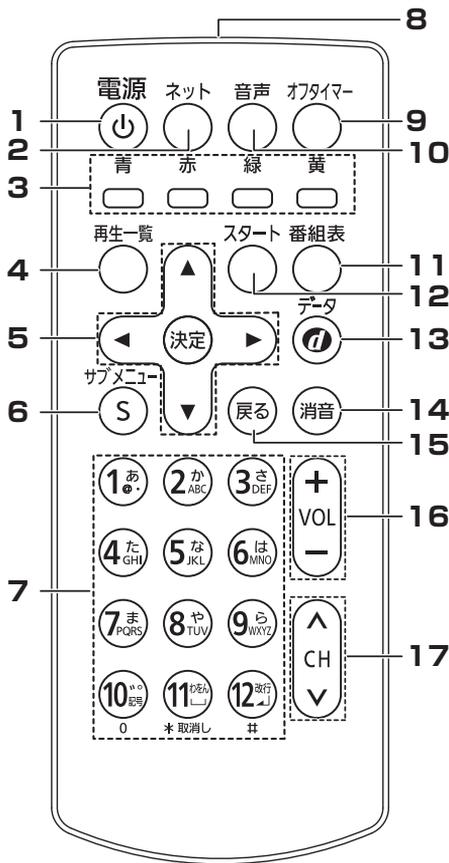
17 リセットボタン
電源の切 / 入ができないなど本機が正常に動作しないときなどに、クリップのようなものを使って押してください。
リセットボタンを押しても設定は変更されません。

18 SD カードを挿入する (➜ 16)

19 miniB-CAS カードを挿入する (➜ 11)

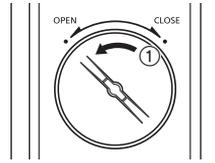
20 スピーカー（音孔）

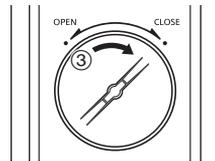
21 スタンド

22 ロック解除つまみ [RELEASE▶] (➜ 6)

リモコン

1 本機の電源を切 / 入する (➜ 14)
2 テレビでネットの画面を表示する (➜ 25)
3 画面上の指示に応じて使用する
4 メディアの再生一覧画面を表示する (➜ 23)
5 画面上で選択する / 決定する
6 サブメニューを表示する
7 チャンネルや番組などを番号で選ぶ / 数字や文字を入力する
[**取消し**]：入力した数値などを取り消す
8 リモコン送信部
9 自動的に電源を切る
設定した時間が経過すると、自動的に電源が切れます。
10 音声を切り換える (➜ 22)
11 番組表を表示する (➜ 21)
12 スタート画面を表示する (➜ 17)
13 データ放送の画面を表示する (➜ 20)
14 音声を消す
もう一度押すと解除します。
15 前の画面に戻る
16 音量を調整する
17 テレビ放送のチャンネルを切り換える (➜ 20)
- テレビ放送表示以外のときに押すと、テレビ放送に切り換わります。

■ リモコンの準備

① ふたをマイナスドライバー（市販品）などを使い [OPEN] の方向へ回し、開ける

② 電池を入れて、ふたを戻す

③ ふたをマイナスドライバーなどを使い [CLOSE] の方向へ回し、閉める

- 電池のふたはしっかり確実に閉めてください。リモコン内部に水が入ると、故障の原因になります。
- 本機のリモコン受信部 (➜ 8) に向けて、まっすぐ操作してください。
- 電池を廃棄する場合は、地方自治体の条例に従ってください。

はじめに

再生できるメディアについて

メディアの種類	代表的なロゴ	メディアの詳細	再生できる内容
SD		SD メモリーカード（8 MB ～ 2 GB まで） SDHC メモリーカード (4 GB ～ 32 GB まで) SDXC メモリーカード（48 GB、64 GB） （mini タイプ、micro タイプにも対応）	持ち出し番組※ 1 MPEG-2 AVCHD JPEG
USB	ー	USB 機器 （2TB まで）	JPEG

※ 1 当社製ブルーレイディスクレコーダー（DMR-BZT920 など）で記録した高画質（VGA）またはワンセグ画質（QVGA）の持ち出し番組が再生できます。

- メディアやコンテンツについては、「ファイルフォーマット」(➜ 40) もご参照ください。

■ SD カード

- mini タイプ、micro タイプの SD カードは、必ず専用のアダプターを装着してご使用ください。
- SD カードにあるスイッチを「LOCK」側にすると、SD カードの内容を誤って消去することを防げます。
- 本機は SD 規格に準拠した FAT12、FAT16 形式でフォーマットされた SD メモリーカード、FAT32 形式でフォーマットされた SDHC メモリーカード、および exFAT 形式でフォーマットされた SDXC メモリーカードに対応しています。
- 非対応のパソコンや機器で使用すると、カードがフォーマットされるなど記録内容が消去されてしまう場合があります。
- 使用可能領域は、表示容量より少なくなることがあります。

メモリーカードを廃棄/譲渡するときのお願い

パソコンなどの機能による「フォーマット」や「削除」では、ファイル管理情報が変更されるだけで、メモリーカード内のデータは完全には消去されません。

廃棄/譲渡の際は、メモリーカード本体を物理的に破壊するか、市販のパソコン用データ消去ソフトなどを使ってメモリーカード内のデータを完全に消去することをお勧めします。

メモリーカード内のデータはお客様の責任において管理してください。

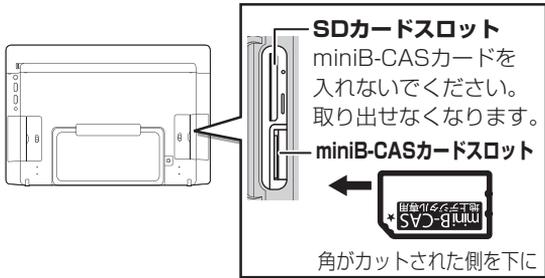
■ USB 機器

- すべての USB 機器との接続を保証するわけではありません。
- 本機は USB 機器を充電することはできません。
- 本機は FAT12、FAT16 、FAT32 形式でフォーマットされた USB 機器に対応しています。
- 本機はハイスピード USB（USB2.0 準拠）に対応しています。
- 本機は FAT32 形式でフォーマットされた HDD（ハードディスク）に対応しています。HDD が認識されない場合は、HDD に電源が供給されていない可能性があります。外部から電源を供給してください。

- 使用するメディア、記録状態、記録方法、記録機器やファイルの作り方により再生できない場合や操作方法が異なる場合があります。

miniB-CAS カードを挿入する

デジタル放送の受信には、本機への miniB-CAS カード（付属）の常時挿入が必要です。
本機に挿入されていない場合、デジタル放送の視聴はできません。

- 電源を切り、AC アダプターを接続していない状態で行ってください。

miniB-CAS カードを、奥までまっすぐ差し込む

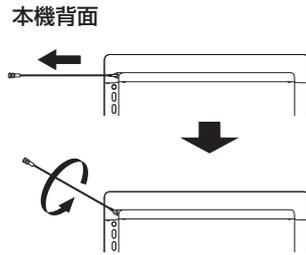
- miniB-CAS カード以外は絶対に挿入しないでください。

miniB-CAS カードを取り出すには

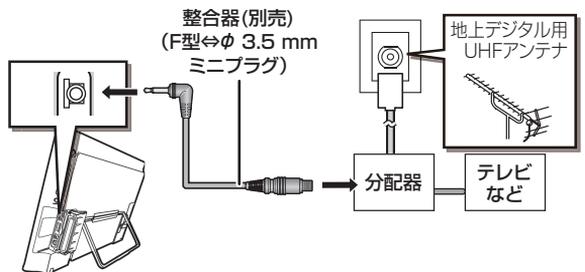
カードの中央部を押し、まっすぐ引き出す

- miniB-CAS カードの挿入 / 取り出しをするときは、急に指を離さないでください。
- miniB-CAS カードの取り扱いについて詳しくは、カードが貼ってあるシートの説明をご覧ください。
- miniB-CAS カードに記載されている番号は、契約内容の管理や問い合わせに必要です。メモなどに控えておいてください。本機でも番号を確認できます。(➜ 34)
- お問い合わせは（紛失時など）
  (株) ビーエス・コンディショナル
  アクセスシステムズ・カスタマーセンター
  TEL：0570-000-250

アンテナの準備をする

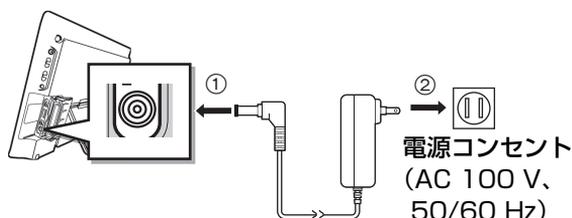
アンテナを最後まで引き出し、向きを調整する

- テレビを見ないときは、アンテナを元の位置に戻してください。
- アンテナに無理な力を加えないでください。また、アンテナをつかんで本機を持ち運ばないでください。アンテナが破損するなど故障の原因になります。

■ 映像が乱れる場合は

屋外 UHF アンテナと接続してください。

- 当社製整合器 （F 型⇔ φ 3.5 mm ミニプラグ）を推奨します。品番：DY-PFM02
- 整合器を接続すると、自動的に外部アンテナに切り換わります。内蔵アンテナで受信するときは、整合器を本機から抜いてください。
- CATV（ケーブルテレビ）と接続する場合は、ご自宅の CATV 方式について CATV 会社に確認してください。本機は同一周波数パススルー方式のみに対応しており、トランスモジュレーション方式や周波数変換パススルー方式には対応しておりません。
- 本機は 4 アンテナ ダイバーシティシステムを内蔵しています。4 本の異なるアンテナで放送波を受信して処理することにより、最適な受信状態を実現するシステムです。
- 対応する整合器については、当社ホームページまたはカタログでご確認ください。
  http://panasonic.jp/portableav/me5000/

電源を準備する

AC アダプター (付属)

端子ふたを開け、AC アダプターを本機に差し込み、電源プラグをコンセントに差し込む

- 電源が切れた状態でも、電力を消費しています。(➜ 40) 長時間使用しないときは、節電のため電源プラグをコンセントから抜くことをお勧めします。

充電式電池

お買い上げ時、充電式電池は充電されていませんので、充電してからお使いください。

- 本機はリチウムイオン充電式電池を内蔵しています。製品廃棄のとき以外は取り外さないでください。
- 充電式電池は本機の画面上では「バッテリー」と表示されます。

■ 充電する

AC アダプターを接続する

- 充電中は充電ランプ (➜ 8) が点灯、充電が完了すると消灯します。
- 本機では「エコ充電」(➜ 34) 機能を使うことができます。
  電源「切」時に充電する場合、画面右下に充電マークが数秒間表示されます。

エコ充電「入」時　**エコ充電「切」時**

ECO

充電時間と再生時間

充電時間※1		テレビ視聴時間※2、※3
エコ充電		
「入」	「切」	
約 2 時間	約 3 時間 15 分	約 3 時間 15 分

※ 1 20 ℃

※ 2 20 ℃ / ヘッドホン使用 / 液晶画面の明るさ「 −5 」
(➜ 18「液晶画面の映像を調整する」)

※ 3 エコ充電「切」で充電した場合
(エコ充電「入」で充電した場合の電池持続時間は、エコ充電「切」時の約 80 %になります。)

- 上記の時間は使用条件により異なります。

■ 電池の残量を確認する

AC アダプター使用時は表示されません。

電源「入」時に [サブメニュー] を押す

電池残量が数秒間表示されます。

表示が点滅したら、電池を充電してください。

ネットワーク接続をする

本機をネットワークに接続すると、以下のサービスや機能を利用することができます。

－ソフトウェアを更新する (➜ 16)
－インターネットに接続する（テレビでネット）(➜ 25)
－お部屋ジャンプリンク（DLNA）を使う (➜ 26)
－くらし機器の映像や情報を見る (➜ 27)
－地上デジタル放送のデータ放送を楽しむ (➜ 20)

さらに詳しい接続のしかたについては、接続した機器の取扱説明書をご覧ください。

- 本機には無線 LAN が内蔵されています。(➜ 41)
  LAN ケーブルで接続することはできません。
- 動作確認済みのくらし機器（ドアホンまたはセンサーカメラなど）については、当社ホームページでご確認ください。
  http://panasonic.jp/portableav/me5000/

※ 接続機器とルーターの接続は、LAN ケーブルまたは無線 LAN で接続してください。

- 802.11n（2.4 GHz / 5 GHz 同時使用可）の無線ブロードバンドルーターをお選びください。5 GHz でのご使用をお勧めします。2.4 GHz で電子レンジやコードレス電話機などを同時にご使用の場合、通信が途切れたりします。また、暗号化方式は「AES」にしてください。
- 動作確認済みの無線ブロードバンドルーターについては、当社ホームページでご確認ください。
  http://panasonic.jp/portableav/me5000/
- 本機は公衆無線 LAN への接続には対応しておりません。

- 無線 LAN 機能は、日本国内でのみお使いいただけます。

本機の設定をする

かんたん設置設定をする

お買い上げ後初めて電源を入れると、チャンネル設定や基本的な設定を行う画面が表示されます。

- **設定中は AC アダプターを外したり、電源を切らないでください。**

準備

- miniB-CAS カードを挿入する (➜ 11)
- アンテナの準備をする (➜ 11)

1 電源 ⏻ **を押す**

設定画面が表示されます。

2 画面の指示に従い、設定を行う

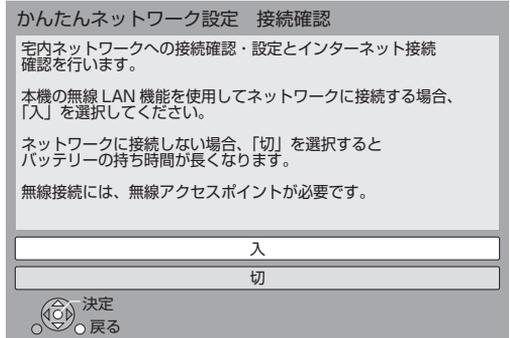
- ふだん見ている放送局が表示されていない場合やチャンネルの割り当てが違うときなどは、「修正する / 確認する」を選んでください。(➜ 30「マニュアル」)
- 設定したチャンネルは「お好みチャンネル(ホーム)」(➜ 22) に保存されます。
- 内蔵アンテナの場合、お住まいの地域で受信できるチャンネルのすべてを設定できない場合があります。安定した設定のために、窓際など電波を受信しやすい場所で設定するか、屋外アンテナとの接続 (➜ 11) をお勧めします。

かんたんネットワーク設定をする

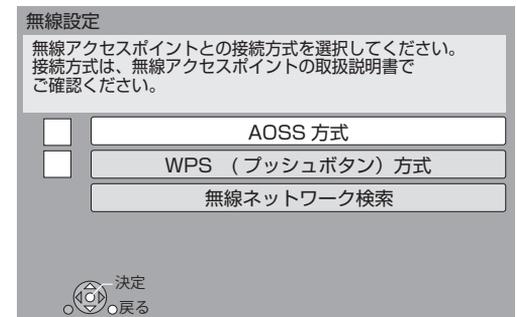
「かんたん設置設定」を行ったあと、「かんたんネットワーク設定」に進むことができます。

準備

ネットワーク接続をする。(➜ 13)

1 「入」を選び、決定 を押す

2 画面の指示に従い、設定を行う

無線接続について

無線ブロードバンドルーターが AOSS™ や WPS（Wi-Fi Protected Setup™）に対応している場合は、「ＡＯＳＳ 方式」または「ＷＰＳ（プッシュボタン）方式」を選ぶと、かんたんに設定することができます。対応していない場合は、「無線ネットワーク検索」を選び、設定してください。

- AOSS™、WPS は、無線 LAN 機器との接続やセキュリティーに関する設定をかんたんに行うことができる機能です。お持ちの無線ブロードバンドルーターが対応しているかどうかは、ルーターの取扱説明書をご覧ください。

- ハブやルーターについてはそれぞれの取扱説明書をご覧ください。
- 「かんたんネットワーク設定」(➜ 32) を選んでネットワーク設定をやり直すことができます。
- 「ネットワーク通信設定」(➜ 32) で、それぞれの項目を設定し直すこともできます。
- お部屋ジャンプリンク（DLNA）機能 (➜ 26) をご利用になるには、802.11n（5 GHz）をお使いのうえ、暗号化方式を「AES」にしてください。暗号化についてはお使いの無線ブロードバンドルーターの取扱説明書をご覧ください。
- 利用権限のない無線ネットワークには接続しないでください。無線ネットワーク環境の自動検索時に利用する権限のない無線ネットワーク（SSID ※）が表示されることがありますが、接続すると不正アクセスと見なされるおそれがあります。
- 本機とネットワーク設定を行うと、無線ブロードバンドルーターの暗号化方式などが変更されることがあります。お持ちのパソコンがインターネットに接続できなくなった場合は、無線ブロードバンドルーターの設定に従って、パソコンのネットワークの設定を行ってください。
- 暗号化せずにネットワーク接続すると、第三者に不正に侵入されて通信内容を盗み見られたり、お客様の個人情報や機密情報などのデータが漏えいするなどのおそれがありますので、十分お気をつけください。

※ SSID: 無線 LAN で特定のネットワークを識別するための名前のことです。この SSID が双方の機器で一致した場合、通信可能になります。

くらし機器の登録をする

くらし機器と接続して設定すると、くらし機器からの情報が確認できます。(➜ 27)

手順 6 から 9 の間で登録する機器を登録モードにしてください。機器によって登録モードにする方法は異なりますので、必ず登録する機器の取扱説明書をご覧ください。

準備

- ネットワーク接続をする。(➜ 13)

1. **スタート ◯ を押す**
2. **「設定」を選び、決定 を押す**
3. **「初期設定」を選び、決定 を押す**
4. **「ネットワーク」を選び、決定 を押す**
5. **「ネットワーク通信設定」を選び、決定 を押す**
6. **「くらし機器設定」を選び、決定 を押す**
7. **「くらし機器接続」を選び、決定 を押す**
8. **「入」を選び、決定 を押す**
   - メッセージを確認したら、[戻る] を押してください。
9. **「< 新規登録 >」を選び、決定 を押す**
10. **「する」を選び、決定 を押す**

登録機器の情報を確認するには

① 「機器一覧」から情報を知りたい機器を選び、[**決定**] を押す
② 「機器のページ」を選び、[**決定**] を押す
③ 「開く」を選び、[**決定**] を押す

機器の登録を削除するには

① 「機器一覧」から削除したい機器を選び、[**決定**] を押す
② 「登録削除」を選び、[**決定**] を押す
③ 「する」を選び、[**決定**] を押す

- くらし機器は最大 5 台まで登録できます。
- 機器の登録ができない場合は、本機と各機器の接続を確認し、登録したい機器を再起動してから、再度設定を行ってください。
- 本機の電源を入れた直後に操作をすると、登録できない場合があります。その場合は、約３分待って、操作を行ってください。（登録する機器が登録モードになったのを確認してから手順 10 を行ってください）
- ネットワークの接続や設定が正しく行われていても登録ができない場合は、VIERA（ビエラ）ご相談窓口 (➜ **裏表紙**) までお問い合わせください。

ソフトウェアの更新

● AC アダプター接続時のみ (➜ 12)

動作の改善や、新機能の追加のために、当社は本機のソフトウェアを随時更新しています。

本機をネットワーク接続している場合、本機の電源を入れたときに自動的にソフトウェアのバージョンを確認します。
最新のソフトウェアになっていない場合、下記のメッセージが表示されます。

最新のソフトウェアが見つかりました。
初期設定から更新を行ってください。

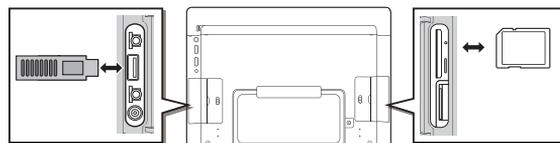
ソフトウェアを更新するには

① **[スタート]** を押す
② 「設定」を選び、**[決定]** を押す
③ 「初期設定」を選び、**[決定]** を押す
④ 「システム設定」を選び、**[決定]** を押す
⑤ 「ソフトウェア更新」を選び、**[決定]** を押す
⑥ 「ソフトウェア更新の実行」を選び、**[決定]** を押す

ソフトウェアの更新中は他の操作はできません。
また、故障の原因となりますので、以下の操作は行わないでください。
－本機の電源を切る
－電源プラグをコンセントから抜く

● ソフトウェアの更新が完了すると、本機が再起動され、下記の画面が表示されます。

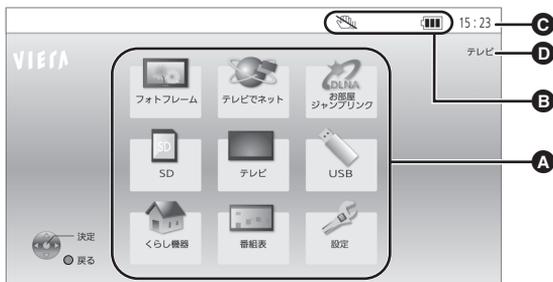
● ソフトウェアの更新は「ソフトウェア更新」を選ぶことでいつでも実行できます。(➜ 34)
● ソフトウェアの更新に失敗した場合や本機がインターネットに接続されていない場合は、当社ホームページから最新のソフトウェアをパソコンにダウンロードすることができます。
SD カード （SDHC/SDXC を除く）にコピーしたあと、本機に入れることでソフトウェアを更新することができます。
http://panasonic.jp/portableav/me5000/
ソフトウェアのバージョンを確認するには (**➜ 34「システム情報」**)
● 更新は数分かかります。お使いの環境により、さらに時間がかかったり、インターネット接続ができなくなる場合があります。
● 本機の電源を入れたときに最新のソフトウェアかどうかの確認を行わない場合は、「ソフトウェアの自動更新確認」(**➜ 34**) を「切」に設定してください。

SD カード・USB 機器を入れる

● メディアを正しい向きに挿入してください。
● SD カードを取り出すには、SD カードの中央部を「カチッ」と音がするまで押し、まっすぐ引き出してください。
● 当社製機器とUSB 接続ケーブルで接続した場合、接続機器側の設定を行ってください。

スタート画面について

スタート画面から本機の主な機能を操作することができます。

項目を選び、(決定) を押す

● さらに項目がある場合は、この操作を繰り返してください。

Ⓐ 項目

テレビ		(➜ 20)
SD USB		メディアを再生します。(➜ 22) ● 複数のコンテンツが記録されている場合は、コンテンツの種類やタイトルを選択してください。 ● AVCHD と JPEG が混在する SD カードを日付順に再生するには、「撮影日を選択」を選んでください。
テレビでネット		(➜ 25)
お部屋ジャンプリンク		(➜ 26)
フォトフレーム		(➜ 24)
くらし機器		(➜ 27)
番組表		(➜ 21)
設定	初期設定	(➜ 32)
	放送設定	(➜ 30)
	放送メール / 情報	(➜ 34)
	LCD (液晶) メニュー	(➜ 18)
	フォトフレーム設定	(➜ 24)
	壁紙設定	スタート画面の背景を変更します。

Ⓑ アイコン

(アイコン)	ジェスチャーコントロール有効 (➜ 19)
(アイコン)	ジェスチャーコントロール無効 (➜ 19)
(アイコン)	放送メールあり (➜ 34)
(アイコン)	ネットワーク接続確認中
(アイコン)	ネットワーク通信中 ● 本数が多いほど通信状態は良好です。
(アイコン)	ネットワーク非接続
(アイコン)	電池の残量 (➜ 12)
(アイコン)	AC アダプター使用中

Ⓒ 時刻表示

Ⓓ 現在選択されているメディアまたは機能

☞スタート画面を表示するには

[スタート] を押す

☞時刻を合わせるには

「時刻合わせ」(➜ 33) を設定する

● メディアによって表示される項目は、異なります。
● テレビ放送を受信した場合、時刻は自動的に設定されます。

設置

液晶画面の映像を調整する

1 サブメニュー(S) **を押す**

2 「テレビ / 画面メニュー」を選び、(決定) **を押す**

3 「LCD (液晶) メニュー」を選び、(決定) **を押す**

4 設定を変える

エコナビ	「画質モード」の設定と本機の明るさセンサー (➜ 8) が感知する周囲の明るさに応じて、液晶の明るさを自動で調整し、電力の消費を防ぎます。 ●「入（表示あり）」を選んだ場合、自動調整するたびに、画面左下に省電力の状態が数秒間表示されます。葉マークが多いほど、電力の消費は少なくなります。 ECONAVI 明るさオート
画質モード 画質を調整します。	**スタンダード** 標準 **ダイナミック** 明暗がはっきりした画質 **ナイト** 暗い場所での使用に適した画質 **ユーザー** さらに画質を調整できます。 **－明るさ** **－色の濃さ** **－色合い**

☞ 設定を終了するには

[戻る] を押す

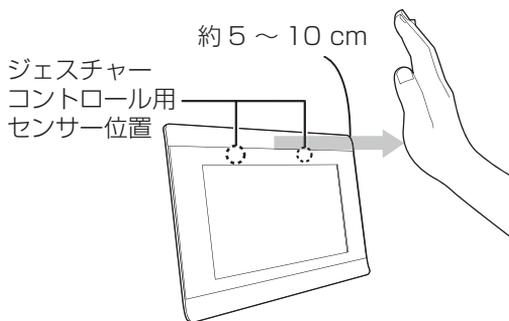
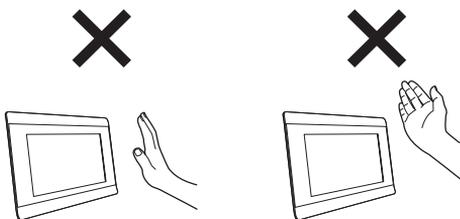
●「フォトフレーム」選択時は、省電力の状態 （葉マーク）は表示されません。

ジェスチャーコントロールで本機を操作する

「ジェスチャーコントロール」とは、画面上部のセンサーに向かって手を動かすことで、本機に触れずに操作する機能です。
ジェスチャーコントロールは以下の機能に対応しています。
－テレビ放送のチャンネル切換 (➜ 20)
－料理レシピサイト （おうちごはん）のページ切り換え (➜ 25)
－音量調整

■ ジェスチャーコントロールをお使いになるために

本機では、センサーが照射する赤外線の反射量を感知することにより、手の位置と動きを検出しています。そのため、以下の点にお気をつけください。

- センサーと手の距離は、およそ５～10 cmとなるようにしてください。
  手を近づけすぎるとセンサーが反応しません。

- センサーに対して手のひらが水平になるように手をかざしてください。

指を開いている状態　　手を縦に向けている状態

- 別の操作に移るときは、一度手を画面から離してください。
- 暗い色の手袋などをはめている場合は、正しく感知できないことがあります。
- 以下のような場合などに機能が誤って働くことがあります。お使いにならないときは、ジェスチャーコントロールを「切」にしてください。
  – ペットなどの動物が画面の前を横切る
  – 画面の前に身体や衣服を近づける
  – 蛍光灯の真下や直射日光の当たる場所に本機を設置する

■ 音量を調整する

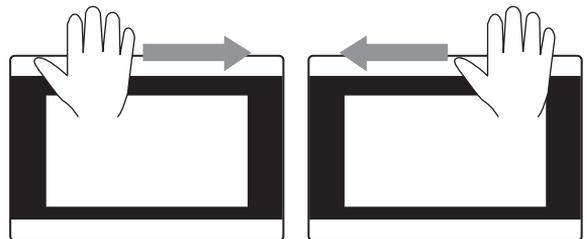
センサー位置の前で手を固定する

- 調整後は手をセンサー位置の前から離してください。固定したままだと音量は変わり続けます。

音量を下げる　　音量を上げる

■ チャンネル / ページを切り換える

左右へ手を移動させる

- 手の動きが早すぎると切り換わりません。

次のチャンネル / ページに切り換える　　前のチャンネル / ページに切り換える

ジェスチャーコントロール機能を有効 / 無効にするには

本体の ジェスチャー を押す

操作音を入 / 切するには

「操作音」を設定する (➜ 33)

センサーの感度を調整するには

「感度調整」を設定する (➜ 33)

ジェスチャーコントロールの操作説明を確認するには

「操作説明」を選択する (➜ 33)

テレビ放送を見る

準備

- アンテナの準備をする (➜ 11)

1 スタート を押す

2 「テレビ」を選び、決定 を押す

電波の受信レベルに応じて地上デジタル放送・ワンセグのいずれかが表示されます。

3 1 ～ 12 または CH を押して、チャンネルを選ぶ

画面に表示が出ます (数秒後に消えます)。

電波状態表示
本数(3本まで)が多いほど、受信状態は良好です。

見ている番組の情報を表示するには

[サブメニュー] を押し、「操作メニュー」から「画面表示（表示なし→表示あり)」を選ぶ

画面表示を消すには

[サブメニュー] を押し、メニュー画面表示後、[戻る] を押す

- 屋内などで電波状況が悪い場合、映像や音声が止まったり乱れたりします。場所を変えて試してください。
- テレビ以外のメディアや機能を選択時に [CH∧,∨] を押すと、テレビ放送に切り換わります。ただし、「初期設定」画面の表示中は切り換わりません。(➜ 32)
- テレビ放送を受信できるのは日本国内のみです。

データ放送を見る

データ放送のある番組では、画面の指示に従ってさまざまな情報やサービスを利用できます。

- ワンセグ視聴時は利用できません。

1 データ放送のある番組を選局し、データ を押す

2 見たい項目を選び、決定 を押す

例)

- 画面の指示に従って、[青]、[赤]、[緑]、[黄] や**数字ボタン**で操作してください。

データ画面を消すには

[データ] を押す

■ 文字入力画面が表示された場合

文字入力欄にカーソルを移動させると、文字入力画面が表示されます。
画面の表示に従って文字を入力します。

- **データ放送の番組の中には、番組独自の文字入力画面を表示する場合があります。その場合は、画面の指示に従ってください。**

漢字や記号を入力するには

① 「かな」を選び、文字を入力する
(記号を入力する場合、「きごう」と入力する)

② 変換候補を選び、[決定] を押す

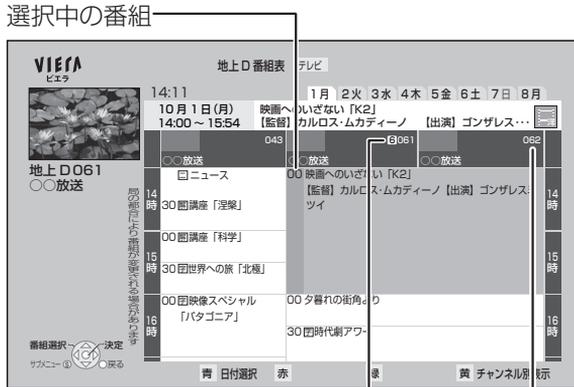
- 入力したすべての文字が表示されない画面もあります。
- 表示可能な漢字コードは、JIS 第 1 水準、JIS 第 2 水準のみです。

他の方法で選局する

番組表から選局する

1 番組表 ◯ **を押す**

例：全チャンネル表示時

選択中の番組

リモコンの数字ボタン番号

放送局の 3 桁チャンネル番号

2 放送中の番組を選び、㊋ を押す

3「今すぐ見る」を選び、㊋ を押す

■ 別の日の番組表を表示する

① [青] を押す

② 日付を選び、[**決定**] を押す

■ チャンネル別の番組表を表示する

選んだチャンネルの番組表を日付別に一覧表示します。

● 地上デジタル放送視聴中のみ

表示したいチャンネルの番組を選び、[黄] を押す

☞ 全チャンネル表示に切り換えるには

[**黄**] を押す

☞ 別のチャンネルを表示するには

① [**青**] を押す

② チャンネルを選び、[**決定**] を押す

■ 表示設定を変える

① 番組表表示中に [**サブメニュー**] を押す

② 項目を選ぶ

③ 設定を変更する

放送切換	お好み番組表 (➜ 22) に切り換えます。
表示チャンネル数 ● 全チャンネル表示時のみ	1 画面に表示するチャンネル数を変更します。
表示日数切換 ● チャンネル別表示時のみ	1 画面に表示する日数を変更します。
表示対象	番組表で表示させる内容を変更します。 ●「設定チャンネル」は、チャンネル設定されている 1～36 までのチャンネルを表示 ● 番組表の表示をやめると、設定は「テレビ」に戻ります。
番組データ取得	選択した局の番組情報を受信します。 [**決定**] **を押す**

☞ 設定を終了するには

[**戻る**] を押す

📖

- 本機は番組データのジャンル情報に従って代表的な5つのジャンル（映画、スポーツ、音楽、ドラマ、アニメ / 特撮）を色分け表示しています。
- 短い番組は青の線で表示されます。選ぶと、番組情報が表示されます。
- 番組データが表示されていない場合は、その局を選んで、[**決定**] を押すと表示されます。（数分かかることもあります）
- テレビ放送視聴中は、視聴中のチャンネルの番組表を自動的に受信します。
- 番組表は、1 つのチャンネルにつき地上デジタル放送は最大 8 日分、ワンセグは最大 10 番組まで表示されます。
- AC アダプターを接続した状態で電源「切」にすると、最新の番組表を自動的に受信します。内蔵アンテナをお使いの場合は、アンテナを立てておいてください。番組表の受信には数分間かかります。
- 本機は G ガイドの受信には対応していません。

お好みチャンネルから選局する

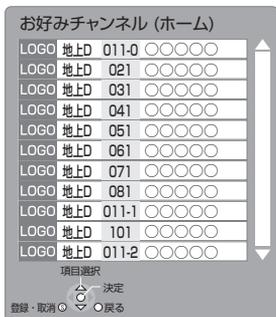
よく見るチャンネルを登録したリストから選局することができます。お好み番組表としても表示できます。

- 登録したリストは「ホーム」「おでかけ」の 2 種類に保存できるので、使用場所により使い分けると便利です（それぞれ 24 チャンネル登録可能）。

1 視聴中に、(S)(サブメニュー) を押す

2 「テレビ / 画面メニュー」を選び、(決定) を押す

3 「お好みチャンネル表示」を選び、(決定) を押す

例：「ホーム」選択時

4 放送局を選び、(決定) を押す

☞「ホーム」「おでかけ」を切り換えるには
(➜ 29)

■ リストを編集する

上記手順 3 のあと

① **[サブメニュー]** を押す
② 設定項目を選び、**[決定]** を押す

登録	視聴中のチャンネルを登録します。
取消	選択したチャンネルを取り消します。

- 表示されるチャンネルの順番を変更する場合は、チャンネルをすべて取り消し、希望の順番で登録してください。
- かんたん設置設定やチャンネル設定を行うと、登録した内容は取り消されます。

視聴中の操作

放送や内容によっては機能しないものもあります。

音声を切り換える

を押す

押すごとに、放送の内容によって切り換わります。

再生する

1 メディアを入れる

2 項目を選び、(決定) を押す

さらに他の項目がある場合は、この手順を繰り返してください。

- パソコンでメディアにドラッグ＆ドロップやコピー＆ペーストした AVCHD や MPEG2 は再生することができません。

再生中の操作

動画や写真を再生すると画面に「再生操作パネル」が表示され、再生中の操作をすることができます。

- **[▲][▼][◀][▶][決定][戻る]** で操作することができます。
- メディアやコンテンツによっては機能しないものもあります。

☞「再生操作パネル」を表示するには

① **[サブメニュー]** を押す
② 「操作メニュー」を選び、**[決定]** を押す
③ 「再生操作パネル」を選び、**[決定]** を押す

停止

[▼] を押す

停止位置を記憶します。

続き再生メモリー機能

再生一覧画面で動画を選び **[決定]** を押すと、停止位置から再生が始まります。

- 記憶された停止位置は本機の電源を切ったり、SD カードを取り出したりした場合解除されます。

一時停止

[▲] を押す

- **[決定]** を押すと、再生を再開します。
- コマ送り（送り方向のみ）：**[戻る]** で「再生操作パネル」の表示を消し、**[▶]** を押してください。MPEG2、持ち出し番組はコマ送りできません。

早送り・早戻し / スロー再生

早送り・早戻し

再生中に [◀][▶] を押す

スロー再生（送り方向のみ）

一時停止中に [▶] を押す

- 押すごとに、または押したままにすると、速度が速くなります。（5 段階）
- **[決定]** を押すと、通常再生に戻ります。
- MPEG2 / 持ち出し番組：スロー再生はできません。

再生一覧や再生状態の情報を表示する

再生一覧画面を表示する

[再生一覧] を押す

- 項目を選び、**[決定]** を押してください。

再生状態を確認する

現在の再生状態の情報を表示します。

■ 写真以外の再生時

① 再生中に **[サブメニュー]** を押す
- 画面に「再生操作パネル」が表示されているときは、**[戻る]** を押し画面の表示を消してから、**[サブメニュー]** を押してください。

② 「操作メニュー」を選び、**[決定]** を押す

③ 「画面表示（表示なし→表示あり）」を選び、**[決定]** を押す

画面表示を消すには

① **[サブメニュー]** を押す

② **[戻る]** を押しメニュー画面を消す

例）AVCHD

Ⓐ T: タイトル、C: チャプター

Ⓑ 経過時間

Ⓒ 現在の再生位置

Ⓓ 総再生時間

■ 写真再生時

① 再生中に **[サブメニュー]** を押す
- 画面に「再生操作パネル」が表示されているときは、**[戻る]** を押し画面の表示を消してから、**[サブメニュー]** を押してください。

② 「操作メニュー」を選び、**[決定]** を押す

③ 「画面表示」を選び、**[決定]** を押す

④ 「日付」または「詳細情報」を選び、**[決定]** を押す

⑤ **[戻る]** を押しメニュー画面を消す

画面表示を消すには

上記手順④で「表示なし」を選び、**[決定]** を押す

例）JPEG

1/26
撮影日 2011年12月11日
写真サイズ 500 x 375
メーカー
撮影機器

スライドショーを見る

写真のスライドショー再生と再生時の設定を行うことができます。

1 「写真一覧」画面表示中に、Ⓢ（サブメニュー）を押す

2 「スライドショー」を選び、（決定）を押す

3 項目を選び、（決定）を押す

スライドショー開始	スライドショーを開始します。一定の時間間隔で 1 枚ずつ写真を表示します。
表示間隔	表示間隔を変更します。
表示効果	写真切り換え時の効果を選択します。
リピート再生	スライドショーの繰り返し再生を設定します。

- “ ☒ ” の表示になっている写真は、本機では再生できません。

視聴

再生

フォトフレームとして動画や写真を再生する

本機をフォトフレーム（写真立て）として、SDカードに記録された動画（AVCHD）および写真を連続して再生することができます。

1 SD カードを入れる (➜ 16)

2 スタート ◯ を押す

3「フォトフレーム」を選び、決定 を押す

☞ フォトフレームを終了するには

[スタート] を押す

- テレビ放送を受信した場合、日付・時刻は自動的に設定されます。
- 動画の音声は出ません。
- 動画アスペクトは 16:9 に固定されます。
- 写真によっては周囲が消える場合があります。

フォトフレームの設定を変更する

1 スタート ◯ を押す

2「設定」を選び、決定 を押す

3「フォトフレーム設定」を選び、決定 を押す

4 項目を選び、設定を切り換える

5 設定終了後、「確定」を選び、決定 を押す

再生モード	再生するデータを選びます。
写真表示間隔	表示間隔を選びます。
表示形式	日付・時刻と動画や写真表示の組み合わせを設定します。
フレームモード	背景の色やデザインを設定します。
フォトフレームタイマー設定	設定した時刻に電源を入 / 切し、フォトフレーム再生を開始・終了します。 **[決定] を押して、さらに設定する** ●「フォトフレームオンタイマー」は AC アダプター接続時のみ働きます。

- 操作方法が異なる場合は、画面の指示に従ってください。
- 「フォトフレームオフタイマー」と「オフタイマー」(➜ 9) の両方を設定している場合、早い方の終了時刻に電源が切れます。

インターネットを楽しむ

本機では、インターネットを利用して以下のサービスなどを楽しむことができます。
－動画共有サイト
－ビデオコミュニケーション
－料理レシピサイト（おうちごはん）
－ラジオ配信サービス

準備

ネットワーク接続と設定をする。(➜ 13 ～ 15)

1 ネット◯ **を押す**

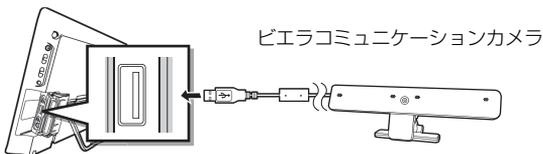
「テレビでネット」のポータルサイト画面が表示されます。

2 **項目を選び、**(決定) **を押す**

● 操作方法は画面の指示に従ってください。

サービスを終了するには

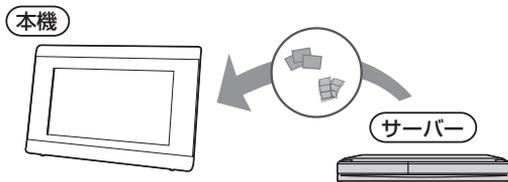
[スタート] を押す

● 「テレビでネット」のポータルサイト画面に表示されないサービス（インターネット上のホームページの閲覧など）は利用できません。
● 音声がひずむ場合は、「テレビでネット自動音量調整」を「切」に設定してください。(➜ 32)
● ソフトウェア更新のお知らせが画面上に表示された場合は、ソフトウェアを更新してください。(➜ 16)
更新を行わない場合、「テレビでネット」をご利用できなくなります。
● 定期的なメンテナンスや、不測のトラブルで一時的にサービスを停止したり、予告ありなしにかかわらず、サービス内容の変更・中止や操作メニュー画面の変更をする場合があります。
あらかじめご了承ください。
● **ビデオコミュニケーションについて**
ビデオコミュニケーション（Skype™）を利用するには、別売のビエラコミュニケーションカメラ（TY-CC10W または TY-CC20W) を接続してください。

– カメラを本機の画面に取り付けて使用しないでください。
– 音声がひずむ場合は、音量を下げるか、本機とカメラの位置を離してください。
– 詳細情報は、当社ホームページをご覧ください。
http://panasonic.jp/portableav/me5000/

インターネットの閲覧制限について

本機には、インターネットを見るときに、お子様などに見せたくない動画サイトなどの閲覧を制限するための機能が組み込まれています。お子様などが本機を使ってインターネットをご覧になる家庭では、この制限機能の利用をお勧めします。
制限機能を使用する場合は、「テレビでネット視聴制限」を「入」に設定してください。(➜ 33)
●「テレビでネット」を利用するには、暗証番号の入力が必要になります。

お部屋ジャンプリンク（DLNA）を使う

当社製ディーガなど DLNA 対応機器に保存された映像や写真などを、本機から操作して再生したり、対応機器で受信した番組を本機で視聴することができます。

- コンテンツが記録された機器をサーバーといいます。
- サーバーにより、再生できるコンテンツなどは異なります。
- 当社製 DLNA 対応機器および再生できるコンテンツについては、当社ホームページをご覧ください。
  http://panasonic.jp/support/r_jump/
  (2012 年 1 月現在)

準備

① ネットワーク接続と設定をする (➜ 13 ～ 15)

② 接続機器のネットワーク設定をする
- 本機と接続した機器側で、本機をアクセスできるようにしてください。
- 本機の操作を必要とするメッセージが表示されたときは、右記の手順 1 ～ 3 の操作を行ってください。
- ディーガなど接続機器の設定や操作方法の詳細については、接続機器の取扱説明書をご覧ください。

1 スタート ◯ **を押す**

2 **「お部屋ジャンプリンク」を選び、決定 を押す**
- [青] を押すと、一覧を更新することができます。

3 **ディーガなどを選び、決定 を押す**

選んだ機器の画面が表示されます。
以降の操作については、接続機器の取扱説明書をご覧ください。
- コンテンツによっては、[サブメニュー] を押すと便利な機能をお使いいただけます。

画面を消すには
[スタート] を押す

- コンテンツや接続機器によっては、再生できないことがあります。
- 画面上で灰色表示されている項目は、本機で再生できない映像です。
- ディーガと接続している場合、「字幕設定」の「字幕」を「入」にすると、字幕を表示することができます。(➜ 31)

くらし機器を使う

ドアホンやセンサーカメラを接続して設定すると、呼び出しや検知があったときに、映像を本機に表示して確認することができます。
また、太陽光発電システムをお使いの方は、太陽光発電システム用モニタとして利用することもでき、発電状況などを確認することができます。

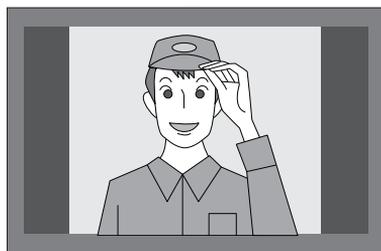
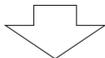
- 接続機器の機能や操作については、それぞれの取扱説明書をご覧ください。

準備

- ネットワーク接続と設定をする。(➜ 13 ～ 15)
- くらし機器の登録をする。(➜ 15)

くらし機器からの通知やメッセージを受ける

くらし機器からの通知やメッセージが表示されたら、(決定) を押す

例）

画面を消すには

[戻る] を押す

- くらし機器からの映像を表示している場合は、テレビ画面に切り換わります。

くらし機器の画像や情報を見る

1 (スタート) **を押す**

2 **「くらし機器」を選び、(決定) を押す**

複数機器を登録している場合は、機器の一覧が表示されます。
機器を選び [決定] を押すと、選択した機器のページが表示されます。

- 接続する機器によって、表示される内容は異なります。

- ドアホンやセンサーカメラからの映像はコマ送りの画像（連続静止画）を表示します。音声は出ません。
- ネットワークの状態や設定によって正常に動作しない場合があります。また、長時間続けて映像を表示した場合、映像が途中で止まることがあります。
- 本機からの応答はできません。
- 通知やメッセージの表示中は、[電源]、[戻る] および [決定] 以外の操作をすることはできません。
- 本機の電源を入れた直後は、通知や映像が表示されないことがあります。約 1 分（DHCP 機能付きのルーターを使用していないときは約 3 分）お待ちください。
- 電源「切」時は、機能が働きません。
- ドアホン側で応答したときは、ドアホンから送られてくる映像が消え、元の表示に戻ります。

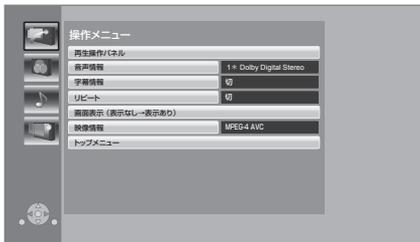
再生

再生設定をする

このメニューからさまざまな再生の操作や設定ができます。表示される項目はコンテンツや機器の状態によって異なります。

1 サブメニュー Ⓢ **を押す**

- 画面に「再生操作パネル」が表示されているときは、[**戻る**] を押し画面の表示を消してから、[**サブメニュー**] を押してください。

例）AVCHD

2 **項目を選び、設定を変更する**

設定を終了するには

[**サブメニュー**] を押す

操作メニュー

再生操作パネル

再生操作パネルを表示します。(➜ 22)

音声情報

音声属性を表示したり、音声や言語を選ぶことができます。

信号切換

映像や音声などの信号を切り換えます。

音声チャンネル

音声（L/R）を切り換えます。

字幕情報

字幕の設定を変更します。

リピート

繰り返し再生の方法を選びます。

- メディアによりリピートの種類は異なります。
- 取り消すには、「切」を選んでください。

スライドショー開始

スライドショーを開始します。

画面表示

画面表示（表示なし→表示あり）

再生状態を表示します。

右９０゜回転

左９０゜回転

写真を回転します。

壁紙登録

スタート画面の壁紙を設定します。(➜ 17)

映像情報

映像の記録方法を表示します。

トップメニュー

トップメニューを表示します。

- 「信号切換」に表示される「マルチビュー」とは、主番組と副番組の複数映像を持った番組です。

映像設定

画質選択
再生時の画質を選びます。
- 「ユーザー」を選ぶと、さらに「詳細画質設定」を設定できます。

詳細画質設定
画質の詳細な設定を行うことができます。
- 3D NR：
  背景部分に現れるノイズを除去し、奥行き感を出します。
- Integrated NR：
  モザイク状のノイズや、周囲とのコントラストがはっきりした部分に見られるもやのようなノイズを除去します。

プログレッシブ
プログレッシブ映像の最適な表示方法を選びます。
- 「オート」でぶれが生じる場合は、「ビデオ」を選んでください。

画面モード切換
画面モードを切り換えます。

映像設定を標準に戻す
映像設定をお買い上げ時の設定に戻します。

音声設定

音質モード
本機から出力される音声の音質を選びます。

スタンダード	全音域のバランスがよい
ニュース	人の声が聞きやすい
ミュージック	メリハリ感が強調される

反響音を抑える
浴室での使用時に壁や床などからの反射による音のこもり感が低減され、音声が聞き取りやすくなります。

小声を大きくする
小さな声を聞き取りやすくします。

テレビ / 画面メニュー

番組表 (➜ 21)

デジタル放送メニュー
放送内容などの設定を変更します。
- 「枝番選局」を選ぶと、同じチャンネルに複数の放送が受信できた場合の放送を選局できます。
- アンテナレベル表示中に **[決定]** を押すと、各チャンネルの受信状況を確認することができます。

地上 D/ ワンセグ切換
「地上 D/ ワンセグ 自動切換」を選ぶと、電波の受信レベルに応じて地上デジタル放送・ワンセグのいずれかに切り換わります。

ホーム / おでかけ切換
「お好みチャンネル」のリストを切り換えます。
- 「おでかけ更新」を選ぶと、使用場所に応じたリストを登録・更新することができます。
- チャンネルの順番を入れ替えるには **(➜ 30)**

お好みチャンネル表示 (➜ 22)

放送設定 (➜ 30)

LCD (液晶) メニュー (➜ 18)

設定

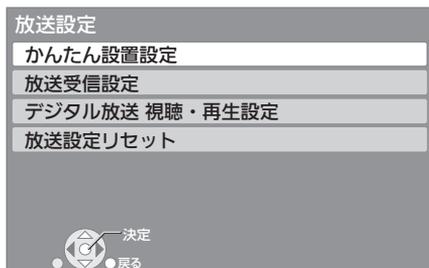
放送設定を変える（放送設定）

1 スタート ◯ **を押す**

2 **「設定」を選び、決定 を押す**

3 **「放送設定」を選び、決定 を押す**

放送設定
かんたん設置設定
放送受信設定
デジタル放送 視聴・再生設定
放送設定リセット

決定
戻る

4 **項目を選び、設定を変更する**

画面を消すには

[スタート] を押す

かんたん設置設定

➜ 14

放送受信設定

チャンネル設定

「地上デジタル」を選び、[決定] を押す

初期スキャン

引っ越しなどで受信地域が変わったときに受信できる局を自動で探します。

再スキャン

受信状況が変わったときに受信できる局を追加します。

マニュアル

チャンネル割り当てを修正したいときなどに行います。

① 修正したいチャンネルを選び、[決定] を押す
② 「地上 D 設定」または「ワンセグ設定」を選び、修正する

チャンネルの順番を入れ替えるには

① チャンネル一覧画面表示中に [緑] を押す
② 入れ替えをしたい行を選び、[決定] を押す
③ 入れ替え先の行を選び、[決定] を押す
④ 入れ替えが終わったら [戻る] を押す

地域設定

データ放送が正しく受信できていない場合に地域の修正を行います。

- 「地域設定削除」を選ぶと、お買い上げ時の状態に戻ります。

受信アンテナ設定

映りが悪いときは、入力レベルが最大になるようアンテナの角度や本機の位置を変えてください。

- 「物理チャンネル選択」を選び、物理チャンネルを入力すると、そのチャンネルのアンテナレベルを確認することができます。
- アンテナレベルの目安は 44 以上です。
- 電波が強すぎて映像が不安定になる場合は「内蔵アンテナ受信感度」を「通常感度」に設定してください。
- 外部アンテナ接続時 (➜ 11) は、アンテナの説明書をご覧ください。

miniB-CAS カードテスト

miniB-CAS カードの動作を確認します。

物理チャンネルについて

放送局ごとに割り当てられている地上デジタル放送のチャンネル（13 CH ～ 62 CH）です。

デジタル放送 視聴・再生設定

字幕設定

デジタル放送の字幕や、番組からのお知らせ (文字スーパー) などを表示させるための設定です。

- 設定しても番組によって無効になる場合があります。

選局対象

[CH∧,∨] を押して順送りできるチャンネルを設定することができます。

- 「設定チャンネル」を選ぶと、チャンネル設定で設定されている 1 ～ 36 までのチャンネルを選局します。
- ワンセグ放送視聴時では、「テレビ」、「データ」は「すべて」と同じです。

放送設定リセット

個人情報リセット

初期設定 (➜ 32 ～ 34) と放送設定の項目をお買い上げ時の設定に戻します。
また、本機に記録されているお客様の個人情報（メールやデータ放送のポイントなど）も消去します。廃棄などで本機を手放される場合以外には、実行しないでください。

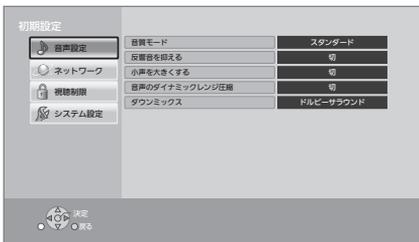
設定

本機の設定を変える（初期設定）

必要に応じて設定を変更してください。設定内容は、本機の電源を切っても保持されています。
初期設定のいくつかの項目は再生設定と共通です。どちらからも同様の設定変更を行うことができます。

1 **[スタート] を押す**

2 **「設定」を選び、[決定] を押す**

3 **「初期設定」を選び、[決定] を押す**

4 **項目を選び、設定を変更する**

画面を消すには

[スタート] を押す

音声設定

音質モード (➜ 29)

反響音を抑える (➜ 29)

小声を大きくする (➜ 29)

音声のダイナミックレンジ圧縮

「入」にすると、Dolby Digital の音声に対し、小音量でもセリフを聞き取りやすくする効果が働きます。

ダウンミックス

マルチサラウンド音声を再生するときにダウンミックスの方法を切り換えることができます。

- 「ドルビーサラウンド」にすると、マルチサラウンド音声を含んだデジタル放送のサラウンド信号が広がります。
  (放送によっては効果が働かない場合があります。)
- AVCHD 再生時は、設定にかかわらず「ノーマル」で出力されます。

ネットワーク

かんたんネットワーク設定 (➜ 14)

ネットワーク通信設定

[決定] を押して、さらに設定します。

無線 LAN

無線接続の切 / 入を設定します。

無線設定

無線ブロードバンドルーターとの接続設定に進むことができます。また接続済みの場合は、設定内容や電波の状態を確認することができます。
[決定] を押して、さらに設定します。

接続設定

無線ブロードバンドルーターとの接続を行います。

倍速モード設定（2.4GHz）

無線方式が 2.4 GHz の場合、通信速度を設定します。

- 「倍速モード （40MHz）」で通信を行うと、2 チャンネル分の周波数帯域を使うため、電波干渉が起こりやすくなるおそれがあります。そのためかえって通信速度が低下したり、通信が不安定になったりする場合があります。

IP アドレス / DNS 設定

ネットワークの接続状態を確認したり、IP アドレスや DNS の設定を行うことができます。
[決定] を押して、さらに設定します。

プロキシサーバー設定

プロキシサーバーの接続状態を確認したり、設定したりすることができます。
[決定] を押して、さらに設定します。

テレビでネット設定 (➜ 25)

[決定] を押して、さらに設定します。

テレビでネット自動音量調整

コンテンツによって異なる音量を、自動的に標準の音量にします。

- コンテンツによっては、効果がない場合があります。
- 音声がひずむ場合は「切」に設定してください。

くらし機器設定

[**決定**] を押して、さらに設定します。

- 「くらし機器接続」を「入」にすると、「クイックスタート」(➜ **34**) は自動的に「入」になります。
- 「ドアホン通知」または「センサーカメラ通知」を選び、「切」を選ぶと、ドアホン単位またはセンサーカメラ単位で設定を解除できます。

視聴制限

テレビでネット視聴制限

「テレビでネット」の視聴制限ができます。

- 入力した暗証番号を忘れないでください。

システム設定

画面設定

[**決定**] を押して、さらに設定します。

画面アスペクト

16：9	4:3 の映像は、4:3 の比率のまま画面中央に表示
16：9 フル	4:3 の映像は、左右に引き伸ばされて表示

テレビ画面の焼き付き低減機能

本機の画面の焼き付きを低減するための設定です。「入」に設定時、10 分以上操作を行わないと、再生一覧画面が自動的にスタート画面に切り換わります。

- 再生中や一時停止中などの操作中は働きません。
- フォトフレーム再生中 (➜ **24**) は働きません。

画面表示動作［オート］

操作状態を本機の画面に自動的に表示します。

本体設定

[**決定**] を押して、さらに設定します。

時刻合わせ

本機で表示される日付や時刻を設定します。

- テレビ放送を受信すると、自動的に設定されます。

操作音

「入」にすると、本体ボタンおよびジェスチャーコントロールによる操作時に操作音が出ます。

ジェスチャーコントロール

[**決定**] を押して、さらに設定します。

感度調整

ジェスチャーコントロール操作時の画面からの距離を設定します。

- 「感度調整」画面表示中は、実際に操作してテストすることができます。

センサー感度

手を近づけたり遠ざけたりしながら適切な値に設定してください。

操作説明

ジェスチャーコントロールの操作説明が表示されます。

起動時のガイド表示

「入」にすると、本体起動時にジェスチャーコントロールの案内画面などが数秒間表示されます。

省エネ / エコ設定
[決定] を押して、さらに設定します。

無操作電源 [切]
「入」にすると、停止状態で約 15 分（充電式電池使用時は約 5 分）経過すると自動的に電源が切れます。

エコ充電
「入」にすると、充電式電池の充電を約 80 %に制御するため、充電式電池の寿命を延ばすことができます。

クイックスタート
電源「切」状態からの起動を高速化します。
- AC アダプター接続時のみ働きます。(➜ 12)
- 「入」にすると、内部の制御部が部分的に通電状態になるため、「切」のときに比べて待機時消費電力 (➜ 40) が増えます。

ソフトウェア更新
[決定] を押して、さらに設定します。

ソフトウェアの自動更新確認
本機をネットワーク接続している場合、本機の電源を入れたときに最新のソフトウェアのバージョンを確認することができます。

ソフトウェア更新の実行
手動でソフトウェアの更新ができます。

システム情報

ソフトバージョン情報
本機のソフトウェアや無線 LAN モジュールのバージョン情報などを表示します。

初期設定リセット
ネットワークや時刻、または視聴制限の設定を除き、初期設定の項目をお買い上げ時の設定に戻します。
- 放送設定の項目は変わりません。

いろいろな情報を見る（放送メール/情報）

放送局から届くメールや、その他本機が送受信する情報などを確認します。

1 スタート ◯ **を押す**
2 **「設定」を選び、(決定) を押す**
3 **「放送メール / 情報」を選び、(決定) を押す**

4 **項目を選び、(決定) を押す**

放送メール

放送メールには、放送局からのお知らせ（最大31通まで保存）などがあります。

確認したいメールを選び、[決定] を押す
- ほとんどのメールは、お客様自身で消去することができません。
- メールが最大保存数を超えると、日付の古い順に消去されます。
- メールの送信や返信はできません。

miniB-CASカード

miniB-CASカードの番号を表示します。

ID 表示

本機のソフトウェアに関する情報などを見るときに使用します。

その他の情報を見るには
- [青]：本機のソフト情報を表示
- [赤]：データ放送時のルート証明書情報を表示

取り扱いについて

本機のお手入れ

電源プラグをコンセントから抜き、乾いた柔らかい布で軽くふいてください。
- 汚れがひどいときは、水にひたした布をかたく絞ってから汚れをふき取り、そのあと、乾いた柔らかい布で軽くふいてください。
- ベンジン、シンナー、アルコール、台所洗剤などの溶剤は、外装ケースが変質したり、塗装がはげるおそれがありますので使用しないでください。
- 化学雑巾をご使用の際は、その注意書きに従ってください。なお、液晶画面には使用しないでください。

- 液晶画面や画面の周りを固い布でふいたり、強くこすったりすると表面に傷がつく原因になります。

本機を廃棄 / 譲渡するとき

本機にはお客様の操作に関する個人情報が記録されています。廃棄や譲渡などで本機を手放される場合は、お買い上げ時の設定に戻して、記録された情報を必ず消去してください。(➜ 31「個人情報リセット」)
- 本機に記録される個人情報に関しては、お客様の責任で管理してください。

カード

持ち方

端子面には手を触れない

破損や機器の故障防止のために、次のことを必ずお守りください。
- 落としたり、激しい振動を与えたりしない。
- お茶やジュースなどの液体をかけたりこぼしたりしない。
- 端子部にごみや水、異物を付着させない。

保管場所

次のような場所に置いたり保管したりしないでください。

- ほこりの多いところ
- 高温になるところ
- 温度差が激しいところ
- 湿度の高いところ
- 湯気や油煙の出るところ
- 冷暖房機器に近いところ
- 直射日光の当たるところ
- 静電気・電磁波の発生するところ（大切な記録内容が損傷する可能性があります）

使用後はケースに収めてください。

故障かな！？

故障かな？と思ったら以下の項目を確かめてください。それでも直らないときや、症状が載っていないときは、お買い上げの販売店にご連絡ください。

■ 次のような場合は、故障ではありません

- 充電中に、AC アダプターの内部で音がする。
- 電源「入」時などに動作音がする
- 液晶画面 の 0.01 % の画素欠けや常時点灯

■ 本機の温度上昇について

本機を使用中は温度が高くなりますが、性能・品質には問題ありません。本機のお手入れなどをするときは、電源を切ってから 3 分以上待ってください。

- 本機の温度が気になる場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

■ ソフトウェアを更新していますか？

- 動作の改善などのために、当社は本機のソフトウェアを随時更新しています。(➜ 16)

■ 本機が操作を受け付けなくなったときは

クリップのようなものを使ってリセットボタンを押してください。(➜ 8)（本機に SD カードが入っている場合は、SD カードを抜いてから押してください。）リセットボタンを押しても設定は変更されません。

いろいろな操作

基本設定以外の設定をお買い上げ時の状態に戻す

➢「初期設定リセット」で「する」を選びます。(➜ 34)

お買い上げ時の設定に戻す

➢「個人情報リセット」で「はい」を選びます。(➜ 31)

自動的に電源が切れた

➢「無操作電源 [切]」(➜ 34) またはオフタイマー機能が働いていませんか。(➜ 9)

充電しても再生時間が極端に短い

➢電池の寿命です。電池の交換は、お近くの「修理ご相談窓口」(➜ 50、51) にお問い合わせください。

暗証番号を忘れた
視聴制限を解除したい

➢視聴制限の内容をお買い上げ時の状態に戻してください。

① 電源「入」状態で、リモコンの [決定]、[青]、[黄] を同時に 5 秒以上押す（液晶画面に「00 RET」が表示されます。）
② 液晶画面に「03 VL」が表示されるまでリモコンの [▶] (右) を押す
③ リモコンの [決定] を押す

USB 接続を正しく認識しない

➢USB を抜き差ししてください。それでも認識しない場合は、本機の電源を入れ直してください。
➢本機に USB 接続の HDD を接続する場合、HDD 付属の USB ケーブルをご使用ください。

本機のリモコンで操作したら、ディーガなどの当社製機器も動く

➢本機とディーガなどのリモコンモードが同じになっています。ディーガなどの機器側でリモコンモードを変更してください。

液晶画面

映像の上下左右に黒帯がついて再生される
画面サイズがおかしい

➢「画面アスペクト」(➜ 33) や「画面モード切換」(➜ 29) で調整してください。

再生

写真が正しく再生できない

➢ プログレッシブ JPEG など、パソコンで編集した写真は再生できないことがあります。

フォトフレーム

画像や動画が表示されない

➢ パソコンなどで編集した写真または動画は再生できない場合があります。

ジェスチャーコントロール

ジェスチャーコントロールが正しく働かない

➢ 暗い色の手袋などをはめている場合は、正しく働かないことがあります。
➢ 蛍光灯の光などによって、機能が誤って働くことがあります。蛍光灯の真下などの明るい場所には本機を設置しないでください。
➢「センサー感度」で感度を調整してください。(➜ 33)

ネットワーク

ネットワークに接続できない

➢ ネットワーク接続や設定は正しいですか。(➜ 13 ～ 15)
➢ 接続した機器の説明書や接続を確認してください。

DLNA 対応機器のコンテンツを再生できない

➢ 接続した機器側で本機が登録されていますか。
➢ すべてのコンテンツを再生できるわけではありません。詳しくは接続した機器の説明書をご覧ください。

無線 LAN 接続をしているとき、DLNA 対応機器のコンテンツを再生できない、または再生が途切れる

➢ 無線ブロードバンドルーターとの接続が 802.11n (5 GHz) で、暗号化方式が「AES」になっているか、ご確認ください。
2.4 GHz で電子レンジやコードレス電話機などを同時にご使用の場合、通信が途切れたりします。
➢「無線設定」(➜ 32) の画面で「電波状態」のインジケーターが 4 つ以上点灯していることが、安定した受信状態の目安です。3 つ以下、または通信の途切れなどが発生する場合は、無線ブロードバンドルーターの位置や角度を調節して通信状態が良くなるかお確かめください。

こんな表示が出たら

異常が起こった場合、本機のランプが点滅したり、本機の画面に以下のメッセージや数値が表示されます。

- 数値表示は、本機の症状を表すサービス番号です。
- 下記の操作をしても表示が消えない場合、お買い上げの販売店またはお近くの「修理ご相談窓口」(➜ 50、51) へ修理を依頼してください。
  なお、修理のご依頼の際には、「サービス番号、F99 」などとお知らせください。

ランプの点滅

充電ランプが速く点滅

➢ 充電式電池に異常が発生しました。電源を入れて画面の表示をご確認ください。

➢ ソフトウェアの更新が正常に終了しませんでした。更新をやり直してください。(➜ 16)

充電ランプがゆっくり点滅

➢ 充電式電池の残量が少なくなっています。（数分すると、電源が切れます）

画面の表示

ERROR 01

➢ 充電式電池に異常が発生しました。
お買い上げの販売店またはお近くの「修理ご相談窓口」にご相談ください。(➜ 50、51)

ERROR U581

➢ 充電し続けましたが、何らかの理由で充電されていません。再度充電してください。

ERROR U582

➢ 暑いまたは寒い場所で充電しています。
常温の場所で充電してください。

F □□または U □□（□□は数字）

➢ 異常が発生しました。
電源の切／入、またはリセットボタンを押してください。

本機では再生できません。

➢ 非対応の画像を再生しようとしています。(➜ 40)

➢ SD カードを入れ直してください。(➜ 16)

⃠ この操作はできません。

➢ 本機が操作を制限しています。

IP アドレスが設定されていません。

➢「IP アドレス / DNS 設定」で「IP アドレス」が「---. ---. ---. ---」になっています。「IP アドレス」、「サブネットマスク」、「ゲートウェイアドレス」を設定してください。（必要に応じて、アドレスの自動取得を選択してください。）(➜ 32)

セキュリティーが低い設定になっています。無線アクセスポイントの設定の変更をおすすめします。

➢ 安全のために、無線 LAN の暗号化方式を「AES」にしてください。DLNA 対応機器から映像などを再生する場合は、暗号化が必要になります。

本機を廃棄する

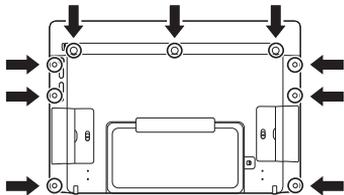
本機に記録されたお客様の操作に関する情報を消去し（➜ 31「個人情報リセット」）、お買い上げ時の設定に戻したあと、本機に内蔵している電池を取り出して電池のリサイクルにご協力ください。

■ 電池の取り出し方

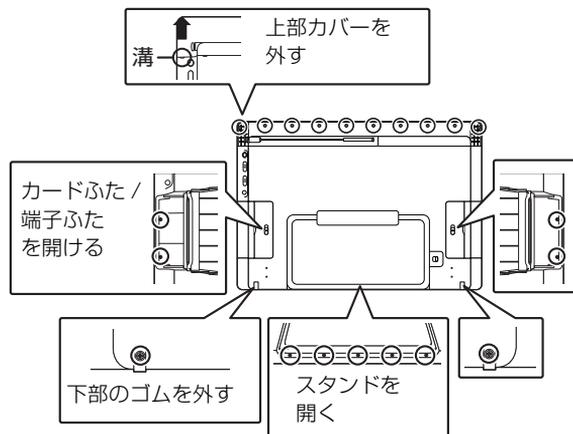
製品を廃棄するとき以外は絶対に分解しないでください。
- **この図は、本機を廃棄するための説明であり、修理用の説明ではありません。分解した場合、修復は不可能です。**

- 電池を使いきってから分解してください。
- 上手に取り出せない場合、お買い上げの販売店またはお近くの「修理ご相談窓口」（➜ 50、51）へお問い合わせください。

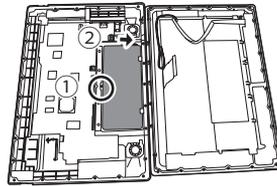
1　下記イラストの矢印箇所のねじを外す（9本）
- ねじにはシールが貼ってあります。

市販の精密ドライバー（＋、サイズ：No.0）でシールを破いて、ねじを外してください。

2　上部カバー内や下部ゴム内などのねじを外す（21 本）

上部カバーはマイナスドライバー（市販品）などを溝に引っ掛け、上部カバー側に力を加えると外れやすくなります。

下部のゴムは底面側を手前に引っ張ったあと、上にスライドさせると外れます。

3　本機裏面を開ける

4　電池を取り出す

① ねじを外す
② コードを持って引き抜き、電池を取り出す

■ 使用済み充電式電池の取り扱いについて

- 端子部をセロハンテープなどで絶縁してください。
- 分解しないでください。
- 不要になった電池は、捨てないで充電式電池リサイクル協力店へご持参ください。

使用済み充電式電池の届け先

最寄りのリサイクル協力店へ

詳細は、一般社団法人
JBRC のホームページをご参照ください。
- ホームページ　http://www.jbrc.net/hp

必要なとき

仕様

この仕様は、性能向上のため変更することがあります。

電源
　DC 12 V（DC IN 端子)/DC 7.4 V（充電式電池端子)

消費電力
（付属の専用 AC アダプター使用時）
　動作時：約 14 W（本体 約 12 W)
　充電時 （クイックスタート「切」）：約 16 W
　充電時 （クイックスタート「入」）：約 20 W
　待機時 （クイックスタート「切」）：約 0.15 W
　待機時 （クイックスタート「入」）：約 3 W

AC アダプター
　入力：AC 100 V ～ 240 V、50/60 Hz
　消費電力：55 VA ～ 72 VA
　出力：DC 12 V、2.0 A

リチウムイオン充電式電池（内蔵）
　電圧：7.4 V
　容量（最小）：3700 mAh

本体

外形寸法（突起物を含まず）	幅 301 mm× 高さ 206.7 mm× 奥行き 23.4 mm
質量	約 1275 g
防水	保護等級：IPX6/IPX7 相当
許容周囲温度	+5 ℃～ +35 ℃
許容相対湿度	10 %～80 %RH（結露なきこと）
液晶ディスプレイ	10.1 型 α － Si TFT ワイド液晶モニター 画素数：横 1024× 縦 600
テレビ受信チャンネル	地上デジタル放送 (ワンセグ放送対応※ 1)： UHF13 ch ～ 62 ch ※ 2
アンテナ受信入力	内蔵アンテナ： 4 アンテナ 4 チューナー ダイバーシティ方式 外部アンテナ入力端子：1 系統（75 Ω）
USB	端子数：1 系統（USB 2.0）
SD カードスロット	端子数：1 系統
スピーカー	出力 : 800 mW + 800 mW (8 Ω)
ヘッドホン出力	出力端子： φ 3.5 mm ステレオミニジャック （16 ～ 32 Ω 推奨) 端子数：1 系統

※ 1 データ放送の受信には対応していません。
※ 2 トランスモジュレーション方式や周波数変換パススルー方式の CATV には対応していません。

内蔵無線 LAN モジュール

規格	IEEE802.11n / IEEE802.11a※ 1 / IEEE802.11g / IEEE802.11b 準拠、 ARIB STD-T71（5 GHz 帯)、 ARIB STD-T66（2.4 GHz 帯）
伝送方式	OFDM 方式、DSSS 方式
周波数範囲 / チャンネル（中心周波数）	IEEE802.11n / IEEE802.11a 5. 180 GHz ～ 5. 240 GHz / W52： 36, 40, 44, 48 ch 5. 260 GHz ～ 5. 320 GHz / W53： 52, 56, 60, 64 ch 5. 500 GHz ～ 5. 700 GHz / W56： 100, 104, 108, 112, 116, 120, 124, 128, 132, 136, 140 ch IEEE802.11g / IEEE802.11b / IEEE802.11n 2. 412 GHz ～ 2. 472 GHz： 1 ～ 13 ch
データ転送速度（規格値※ 2）	IEEE802.11n： Tx 最大 150 Mbps、 Rx 最大 150 Mbps IEEE802.11g、IEEE802.11a： 最大 54 Mbps IEEE802.11b： 最大 11 Mbps
アクセス方式	インフラストラクチャモード
セキュリティー	WPA™ / WPA2™ （暗号化方式：TKIP / AES、 認証方式：PSK） WEP (64 bit / 128 bit)

※ 1 従来の 11a (J52) のみの対応機器とは接続できません。
※ 2 理論上の速度であり、ご利用環境や接続機器などにより実際の通信速度は異なります。

ファイルフォーマット

ファイルフォーマット	拡張子	備考
JPEG	“.jpg”、“.JPG”	● MOTION JPEG およびプログレッシブ JPEG には対応していません。 ● パソコンなどでフォルダ構造やファイル名を編集したものは再生できない可能性があります。

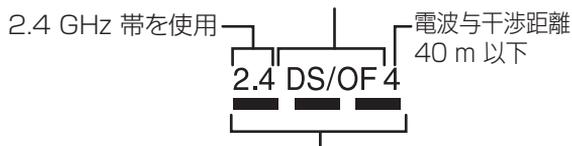
● メディアやフォルダの作り方によっては、再生順が異なったり再生できない場合があります。

内蔵無線 LAN 使用上のお願い

■ 使用周波数帯

内蔵無線 LAN は 2.4 GHz 帯の周波数帯を使用しますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に留意してご使用ください。

■ 周波数表示の見方

周波数表示は、付属のラベルに記載しています。

2.400 GHz～2.4835 GHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味する

無線 LAN 機器使用上の注意

この機器の使用周波数帯域では、電子レンジなどの産業・科学・医療機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局)、ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていない事を確認してください。
2. 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに場所を変更するか、または電波の使用を停止したうえ、下記連絡先にご連絡いただき、混信回避のための処置など（例えば、パーティションの設置など）についてご相談してください。
3. その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きた時は、次の連絡先へお問い合わせください。

パナソニック VIERA（ビエラ）ご相談窓口
(➜ 裏表紙)

■ 機器認定

内蔵無線 LAN は、電波法に基づく技術基準適合証明を受けていますので、無線局の免許は不要です。ただし、内蔵無線 LAN に以下の行為を行うことは、電波法で禁止されています。

- 分解 / 改造する
- 本機背面記載の定格銘板を消す
- 5 GHz 帯無線 LAN を使って屋外で通信を行う

■ 使用制限

内蔵無線 LAN の使用に当たり、以下の制限がありますのであらかじめご了承ください。
制限をお守りいただけなかった場合、および内蔵無線 LAN の使用または使用不能から生ずる付随的な損害などについては、当社は一切の責任を負いかねます。

- **日本国内でのみ使用できます。**
- **利用権限のない無線ネットワークには接続しないでください。**
  無線ネットワーク環境の自動検索時に利用する権限のない無線ネットワーク（SSID ※）が表示されることがありますが、接続すると不正アクセスと見なされるおそれがあります。
- **磁場・静電気・電波障害が発生するところで使用しないでください。**
  – 次の機器の付近などで使用すると、通信が途切れたり、速度が遅くなることがあります。
    ・電子レンジ
    ・デジタルコードレス電話機
    ・その他 2.4 GHz 帯の電波を使用する機器の近く（Bluetooth 対応機器、ワイヤレスオーディオ機器、ゲーム機など）
  – 802.11n（2.4 GHz/5 GHz 同時使用可）の無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）をお選びください。5 GHz でのご使用をお勧めします。
    また暗号化方式は「AES」にしてください。
- **電波によるデータの送受信は傍受される可能性があります。**

※ 無線 LAN で特定のネットワークを識別するための名前のことです。この SSID が双方の機器で一致した場合、通信可能になります。

著作権など

放送やネットワークのサービス事業者が提供する以下のサービス内容は、サービス提供会社の都合により、予告なく変更や終了することがあります。サービスの変更や終了にかかわるいかなる損害、損失に対しても当社は責任を負いません。

- テレビでネットなどのインターネットサービス
- 番組表表示などの電子番組表サービス
- その他の放送・ネットワーク事業者が提供するサービス

本製品は以下の種類のソフトウェアから構成されています。

(1) パナソニック株式会社（パナソニック）が独自に開発したソフトウェア
(2) 第三者が保有しており、別途規定される条件に基づきパナソニックに利用許諾されるソフトウェア
(3) GNU GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2 (GPL v2) に基づき利用許諾されるソフトウェア
(4) GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2.1(LGPL v2.1) に基づき利用許諾されるソフトウェア
(5) GPL,LGPL 以外の条件に基づき利用許諾されるオープンソースソフトウェア

上記 (3)、(4) に基づくソフトウェアに関しては、例えば以下で開示される GNU GENERAL PUBLIC LICENSE V2.0, GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE V2.1 の条件をご参照ください。
http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/gpl-2.0.html
http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/lgpl-2.1.html
また、上記 (3)、(4) に基づくソフトウェアは、多くの人々により著作されています。これら著作者のリストは以下をご参照ください。
http://panasonic.net/avc/oss/bdplayer/AWBPP12.html

これら GPL,LGPL の条件で利用許諾されるソフトウェア（GPL/LGPL ソフトウェア）は、これら単体で有用であることを期待して頒布されますが、「商品性」または「特定の目的についての適合性」についての黙示の保証をしないことを含め、一切の保証はなされません。

製品販売後、少なくとも３年間、パナソニックは下記のコンタクト情報宛にコンタクトしてきた個人・団体に対し、GPL/LGPL の利用許諾条件の下、実費にて、GPL/LGPL ソフトウェアに対応する、機械により読み取り可能な完全なソースコードを頒布します。

コンタクト情報
cdrequest.bdplayer@gg.jp.panasonic.com

またソースコードは下記の URL からも自由に入手できます。
http://panasonic.net/avc/oss/bdplayer/AWBPP12.html

(5) には以下が含まれます。

1. Open SSL Toolkit において使用するために、OpenSSL Project によって開発されたソフトウェア
(http://www.openssl.org/)
2. University of California, Berkeley およびその貢献者によって開発されたソフトウェア
3. FreeType コード
4. Independent JPEG Group の JPEG ソフトウェア

- 著作物を無断で複製、放送、公開演奏、レンタルすることは法律により禁じられています。
- 天災、システム障害、放送局側の都合による変更などの事由により、電子番組表サービスが使用できない場合があります。当社は電子番組表サービスの使用に関わるいかなる損害、損失に対しても責任を負いません。
- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- SDXC ロゴは SD-3C, LLC の商標です。
- DLNA, the DLNA Logo and DLNA CERTIFIED are trademarks, service marks, or certification marks of the Digital Living Network Alliance.
- Skype、関連する商標とロゴおよび Ⓢマークは、Skype Limited 社の商標です。
- 日本語変換はオムロンソフトウエア（株）のモバイルWnnを使用しています。
“Mobile Wnn” © OMRON SOFTWARE Co.,Ltd. 1999-2002 All Rights Reserved
- “AVCHD” および “AVCHD Progressive” はパナソニック株式会社とソニー株式会社の商標です。
- 本製品は、AVC Patent Portfolio License 及び VC-1 Patent Portfolio License に基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する行為にかかわる個人使用を除いてはライセンスされておりません。
  - AVC 規格及び VC-1 規格に準拠する動画（以下、AVC/VC-1 ビデオ）を記録する場合
  - 個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録された AVC/VC-1 ビデオを再生する場合
  - ライセンスを受けた提供者から入手された AVC/VC-1 ビデオを再生する場合

  詳細については米国法人 MPEG LA, LLC（http://www.mpegla.com）をご参照ください。
- 本機が表示する平成丸ゴシック体は、財団法人日本規格協会を中心に制作グループが共同開発したものです。許可なく複製することはできません。
- メールやデータ放送のポイントなどのデジタル放送に関する情報は、本機が記憶します。万一、本機の不都合によって、これらの情報が消失した場合、復元は不可能です。その内容の補償についてはご容赦ください。
- 本機は 2011 年 11 月現在のデジタル放送規格の運用条件（著作権保護内容）に基づいて設計されています。
- AOSS™ は株式会社バッファローの商標です。

- “Wi-Fi CERTIFIED”ロゴは、“Wi-Fi Alliance”の認証マークです。
- Wi-Fi Protected Setup のマークは、“Wi-Fi Alliance”の商標です。
- “Wi-Fi”、“Wi-Fi Protected Setup”、“WPA”、“WPA2”は“Wi-Fi Alliance”の商標または登録商標です。
- この取扱説明書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の登録商標または商標です。

音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。適度の音量にして隣り近所へ配慮しましょう。特に静かな夜間には窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。

音のエチケット
シンボルマーク

安全上のご注意　（必ずお守りください）

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠	危険	「死亡や重傷を負うおそれが大きい内容」です。
⚠	警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠	注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。（次は図記号の例です）

⃠	してはいけない内容です。
❗	実行しなければならない内容です。
⚠	気をつけていただく内容です。

⚠ 危険

水場（浴室や台所など）で、AC アダプターを使わない

水がかかると感電の原因になります。

本機は充電式電池を内蔵しています

- **火中投入、加熱、高温での充電・使用・放置をしない**
- **電子レンジで加熱しない**
- **分解・改造しない (製品廃棄時を除く)**

発熱・発火・破裂の原因になります。

次の安全上のご注意は、廃棄時取り出した充電式電池に適用されます。

**本機専用の充電式電池です
この機器以外に使用しない**

取り出した充電式電池は充電しないでください。

- **火への投入、加熱をしない**
- **くぎで刺したり、衝撃を与えたり、分解・改造をしない**
- **⊕ と ⊖ を金属などで接触させない**
- **ネックレス、ヘアピンなどと一緒に持ち運んだり保管しない**
- **電子レンジやオーブンなどで加熱しない**
- **火のそばや炎天下など高温の場所で充電・使用・放置しない**
- **水中への投入をしない**

発熱・発火・破裂の原因になります。

電池の液がもれたときは、素手でさわらない

- 液が目に入ったときは、失明のおそれがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。
- 液が身体や衣服に付いたときは、皮膚の炎症やけがの原因になるので、きれいな水で十分に洗い流したあと、医師にご相談ください。

⚠警告

異常・故障時には直ちに使用を中止する

異常があったときには、電源プラグを抜く

- **煙が出たり、異常なにおいや音がする**
- **映像や音声が出ないことがある**
- **内部に水や異物が入った**
- **電源プラグが異常に熱い**
- **本体やACアダプターが破損した**

そのまま使うと火災・感電の原因になります。

- 電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、販売店にご相談ください。

可燃性・爆発性・引火性のガスなどのある場所で使わない

火災や爆発の原因になります。

- 粉じんの発生する場所でも使わないでください。

コード・電源プラグを破損するようなことはしない

（傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重い物を載せる、束ねるなど）

傷んだまま使用すると、火災・感電・ショートの原因になります。

- コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流100 V～240 V以外での使用はしない

たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

コイン電池やメモリーカードやminiB-CASカードは、乳幼児の手の届くところに置かない

誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。

- 万一、飲み込んだら、すぐに医師にご相談ください。

内部に水などの液体をかけたりぬらしたりしない

本機やリモコンの内部に入ると、ショートや発熱の原因になります。

- 本機やリモコンを水のかかるところで使用するときは、本機のカードふた、端子ふた、リモコンの電池ふたを確実に閉めてください。
- 特にお子様にはご注意ください。

電源を入れたまま長時間、直接触れて使用しない

本機の温度の高い部分に長時間、直接触れていると低温やけど※の原因になります。

※ 血流状態が悪い人（血管障害、血液循環不良、糖尿病、強い圧迫を受けている）や皮膚感覚が弱い人などは、低温やけどになりやすい傾向があります。

歩行中や乗り物を運転中に使用しない

交通事故の原因になります。

ヘッドホン使用時は、音量を上げすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力が大きく損なわれる原因になります。

⚠警告

ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない

ぬれ手禁止

感電の原因になります。

雷が鳴ったら、本機や電源プラグ、アンテナ線に触れない

接触禁止

感電の原因になります。

電源プラグのほこり等は定期的にとる

プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。
- 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。
- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは、使わないでください。

自動ドア、火災報知機などの自動制御機器の近くで使用しない

本機からの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

病院内や医療用電気機器のある場所で使用しない

本機からの電波が医療用電気機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

航空機内で使用しない

本機からの電波が運航の安全に支障をきたすおそれがあります。

満員電車の中など混雑した場所では、付近に心臓ペースメーカーを装着している方がいる場合があるので、使用しない

本機からの電波がペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。

心臓ペースメーカーを装着している方は本機を装着部から 22 cm 以上離す

本機からの電波がペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。

次の安全上のご注意は、製品廃棄時（充電式電池取り出し時）に適用されます。

取り外したねじなどは、乳幼児の手の届くところに置かない

誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。
- 万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

⚠注意

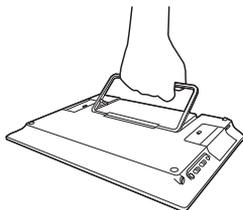
コイン電池は誤った使いかたをしない

- **指定以外のコイン電池を使わない**
- **⊕と⊖は逆に入れない**
- **加熱・分解したり、水などの液体や火の中に入れたりしない**
- **ネックレスなどの金属物といっしょにしない**

取り扱いを誤ると、液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になることがあります。

アンテナやスタンドをつかんで持ち上げたり、運んだりしない

落下すると、けがの原因になることがあります。

- また、製品の故障の原因にもなりますので、ご注意ください。

アンテナを目や顔に近づけない、人に向けない

アンテナの先端に接触して、けがの原因になることがあります。

- アンテナを使用するときは、十分注意してください。

不安定な場所に置かない

高い場所、水平以外の場所、振動や衝撃の起こる場所に置かない

倒れたり落下すると、けがの原因になることがあります。

- また、製品の故障の原因にもなりますので、ご注意ください。
- 浴室での使用時は、吸盤ホルダーで本体を固定してお使いください。

放熱を妨げない

内部に熱がこもると、火災の原因になることがあります。

- また、外装ケースが変形する原因にもなりますのでご注意ください。

本機の上に重い物を載せたり、乗ったりしない

倒れたり落下すると、けがの原因になることがあります。
また、重量で外装ケースが変形し、内部部品が破損すると、火災・故障の原因になることがあります。

異常に温度が高くなるところに置かない

特に真夏の車内、車のトランクの中は、想像以上に高温(約60 ℃以上)になります。本機やACアダプターなどを絶対に放置しないでください。火災の原因になることがあります。

- また、外装ケースや内部部品が劣化する原因にもなりますのでご注意ください。

台所などで高温の蒸気の当たるところ、油煙やほこりの多いところに放置しない

高温の蒸気で外装ケースが変形し、内部部品が破損すると、火災・故障の原因になることがあります。
また、端子やカード挿入部などに油煙やほこりがたまり、故障の原因になります。

本機に磁気の影響を受けやすいものを近づけない

本機の磁気の影響で、キャッシュカードや定期券、時計などが正しく機能しなくなることがあります。
また、磁気の影響を受けるのでテレビやパソコン等の近くに置かないでください。

ヘッドホン接続前に、音量を下げる

音量を上げ過ぎた状態で接続すると、突然大きな音が出て耳を傷める原因になることがあります。

- 音量は少しずつ上げてご使用ください。

指定のACアダプターを使う

指定外のACアダプターで使用すると、火災や感電の原因になることがあります。

⚠ 注意

長期間使わないときや、お手入れのときは、電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

通電状態で放置、保管すると、絶縁劣化、ろう電などにより、火災の原因になることがあります。

● カード・USB 機器は、保護のため取り出しておいてください。

スタンドは開ききって設置する

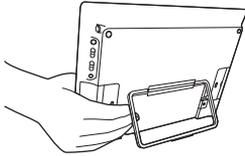
開ききらないで設置すると、倒れたり落下し、けがの原因になることがあります。

● また、製品の故障の原因にもなりますので、ご注意ください。

本機を設置するときや移動させるときは、本体とスタンドの間に指をはさまれないように注意する

指はさみ注意

けがの原因になることがあります。

● 特にお子様にはご注意ください。

保証とアフターサービス（よくお読みください）

使いかた・お手入れ・修理などは

■ まず、お買い上げの販売店へご相談ください。

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名

電話　　（　　　）　　－

お買い上げ日　　　年　　月　　日

miniB-CASカード番号

※ miniB-CAS カード番号を記入してください。お問い合わせのときに必要な場合があります。

修理を依頼されるときは

「故障かな！？」「こんな表示が出たら」（➜ 36 ～ 38）でご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げ日と下記の内容をご連絡ください。

- **製品名**　ポータブル地上デジタルテレビ
- **品　番**　SV-ME5000
- **故障の状況**　できるだけ具体的に

- **保証期間中は、保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理をさせていただきますので、おそれ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。**

  保証期間 ：お買い上げ日から本体 1 年間
- **保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理させていただきます。**

※ 修理料金は次の内容で構成されています。

技術料 診断・修理・調整・点検などの費用

部品代 部品および補助材料代

出張料 技術者を派遣する費用

※ **補修用性能部品の保有期間** 8 年

当社は、このポータブル地上デジタルテレビの補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後 8 年保有しています。

■ 転居や贈答品などでお困りの場合は、次の窓口にご相談ください。

ご使用の回線（IP 電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

- 使いかた・お手入れなどのご相談は‥‥

  パナソニック VIERA（ビエラ）ご相談窓口　365日 受付9時～20時

  電話 フリーダイヤル（携帯・PHS OK）**0120-878-981**

  ※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

- 修理に関するご相談は‥‥‥‥‥‥‥

  パナソニック 修理ご相談窓口

  電話 フリーダイヤル（携帯・PHS OK）**0120-878-554**

  ※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

  • 上記電話番号がご利用いただけない場合は、各地域の「修理ご相談窓口」におかけください。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

■各地域の修理ご相談窓口 ※電話番号をよくお確かめの上、おかけください。

• 地区・時間帯によって、集中修理ご相談窓口に転送させていただく場合がございます。

地区	拠点	電話番号	住所
北海道地区	札幌	☎ (011)894-1251	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7
	旭川	☎ (0166)22-3011	旭川市2条通16丁目1166
	帯広	☎ (0155)33-8477	帯広市西20条北2丁目23-3
	函館	☎ (0138)48-6631	函館市西桔梗589番地241（函館流通卸センター内）
東北地区	青森	☎ (017)775-0326	青森市大字浜田字豊田364
	秋田	☎ (018)868-7008	秋田市外旭川字小谷地3-1
	岩手	☎ (019)645-6130	盛岡市厨川5丁目1-43
	宮城	☎ (022)387-1117	仙台市宮城野区扇町7-4-18
	山形	☎ (023)641-8100	山形市平清水1丁目1-75
	福島	☎ (024)991-9308	郡山市亀田1丁目51-15
首都圏地区	栃木	☎ (028)689-2555	宇都宮市上戸祭3丁目3-19
	群馬	☎ (027)254-2075	前橋市箱田町325-1
	茨城	☎ (029)864-8756	つくば市筑穂3丁目15-3
	埼玉	☎ (048)728-8960	桶川市赤堀2丁目4-2
	千葉	☎ (043)208-6034	千葉市中央区末広5丁目9-5
	東京	☎ (03)5477-9700	東京都世田谷区宮坂2丁目26-17
	山梨	☎ (055)222-5822	甲府市宝1丁目4-13
	神奈川	☎ (045)847-9720	横浜市港南区日野5丁目3-16
	新潟	☎ (025)286-0180	新潟市東区東明1丁目8-14
中部地区	石川	☎ (076)280-6608	金沢市玉鉾2丁目266番地
	富山	☎ (076)424-2549	富山市根塚町1丁目1-4
	福井	☎ (0776)21-0622	福井市問屋町2丁目14
	長野	☎ (0263)86-9209	松本市寿北7丁目3-11
	静岡	☎ (054)287-9000	静岡市駿河区高松2丁目24-24
	愛知	☎ (052)819-0225	名古屋市瑞穂区塩入町8-10
	岐阜	☎ (058)278-6720	岐阜市中鶉4丁目42
	三重	☎ (059)254-5520	津市久居野村町字山神421
近畿地区	滋賀	☎ (077)582-5021	守山市水保町1166番地の1
	京都	☎ (075)646-2123	京都市南区上鳥羽中河原3番地
	大阪	☎ (06)7730-8888	大阪市城東区関目2丁目15-5
	奈良	☎ (0743)59-2770	大和郡山市筒井町800番地
	和歌山	☎ (073)475-2984	和歌山市中島499-1
	兵庫	☎ (078)796-3140	神戸市須磨区弥栄台3丁目13-4
中国地区	鳥取	☎ (0857)26-9695	鳥取市安長295-1
	米子	☎ (0859)34-2129	米子市米原4丁目2-33
	松江	☎ (0852)23-1128	松江市平成町182番地14
	出雲	☎ (0853)21-3133	出雲市渡橋町416
	浜田	☎ (0855)22-6629	浜田市下府町327-93
	岡山	☎ (086)242-6236	岡山市北区野田3丁目20番8号
	広島	☎ (082)295-5011	広島市西区南観音1丁目13-5
	山口	☎ (083)973-2720	山口市小郡下郷220-1
四国地区	香川	☎ (087)874-3110	高松市国分寺町国分359番地3
	徳島	☎ (088)624-0253	徳島市沖浜2丁目36
	高知	☎ (088)834-3142	高知市仲田町2-16
	愛媛	☎ (089)905-7544	愛媛県伊予郡砥部町八倉75-1
九州地区	福岡	☎ (092)593-8002	春日市春日公園3丁目48
	佐賀	☎ (0952)26-9151	佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3044
	長崎	☎ (095)830-1658	長崎市東町1919-1
	大分	☎ (097)556-3815	大分市萩原4丁目8-35
	宮崎	☎ (0985)63-1213	宮崎市本郷北方字草葉2099-2
	熊本	☎ (096)367-6067	熊本市健軍本町12-3
	鹿児島	☎ (099)250-5657	鹿児島市与次郎1丁目5-33
	大島	☎ (0997)53-5101	奄美市名瀬朝仁町11-2
沖縄地区	沖縄	☎ (098)877-1207	浦添市城間4丁目23-11

所在地、電話番号は変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。
最新の「各地域の修理ご相談窓口」はホームページをご活用ください。http://panasonic.co.jp/cs/service/area.html

0511

さくいん

● 使いかた・お手入れなどのご相談は ・・・・・

パナソニック 総合お客様サポートサイト
http://panasonic.co.jp/cs/

パナソニック VIERA(ビエラ)ご相談窓口 365日 受付9時～20時

電話 フリーダイヤル **0120-878-981** ※携帯電話・PHSからもご利用になれます。
■上記番号がご利用いただけない場合 **06-6907-1187**
■FAX フリーダイヤル **0120-878-236**
Help desk for foreign residents in Japan
Tokyo (03) 3256-5444 **Osaka** (06) 6645-8787
Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays/Sundays/national holidays)
※上記の内容は、予告なく変更する場合があります。ご了承ください。

● 修理に関するご相談は・・・・・・・・・・・・・・・・・・

パナソニック 修理サービスサイト
http://club.panasonic.jp/repair/
インターネットでのご依頼も可能です。

パナソニック 修理ご相談窓口

電話 フリーダイヤル **0120-878-554** ※携帯電話・PHSからもご利用になれます。
• 上記電話番号がご利用いただけない場合は、各地域の「修理ご相談窓口」におかけください。

● 有料で宅配便による引取・配送サービスも承っております。

ご使用の回線（IP 電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。
本書の「保証とアフターサービス」もご覧ください。

愛情点検 長年ご使用のポータブル地上デジタルテレビの点検を！

こんな症状はありませんか	• 煙が出たり、異常なにおいや音がする • 映像や音声が出ないことがある • 内部に水や異物が入った • 本体に変形や破損した部分がある • その他の異常や故障がある	ご使用中止	故障や事故防止のため、電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店に点検をご相談ください。

パナソニック株式会社 AVCネットワークス社

〒571－8504 大阪府門真市松生町 1 番 15 号

VQT3W25-2
F0112QK2042